

令和7年度

事業報告書

社会福祉法人 藤枝市社会福祉協議会

令和 7 年度 事業報告書

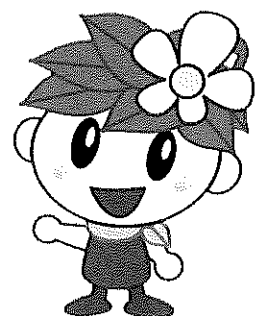
藤枝市社会福祉協議会では、住民を主体とした明るく住みよい社会をつくるため、『みんなで「つながり」地域で「支え合う」まちづくり～幸せになるまち藤枝～』を基本理念とする「第 5 次藤枝市地域福祉活動計画（令和 4 年度から同 7 年度の 4 カ年計画）」の 4 つの基本目標の実現に向けて、次の 2 つを重点施策に掲げて、地域福祉・在宅福祉活動を展開し、地域住民、行政、市内の保健・福祉・医療機関や福祉団体と連携し、住民同士で支えあう地域のしくみづくりに取り組みました。

重点施策① 誰もが住み慣れた地域で自分らしく生活するための包括的な支援体制の強化充実

重点施策② 地域福祉を推進する持続可能な組織づくり

現在、地域における生活課題は複合化・多様化しており、制度の挟間にいるなどの理由から介護、障害、子ども、生活困窮といった分野別の支援のみでは対応が困難な事例にも対応するため、昨年度 2 地区に配置したコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を市内 10 地区に配置し、様々な相談に柔軟に対応できる体制を整えました。

また、少子高齢化・人口減少が急速に進展し、社会構造が変革する中でも、「地域福祉を推進する」という社協の責務を果たしていくため、本会の人事・組織・財務の基本計画である第 1 次中期経営計画（令和 8 年度～令和 12 年度）を策定し、持続可能な組織運営や更なる経営基盤の強化に向けた方針・目標を定めました。



基本目標 1 交流とつながりを深める地域づくり

地域における交流やつながりを深めることは、地域における助け合い意識の醸成につながり、地域共生社会を支える重要な要素となります。学校との連携や地域におけるセミナーの開催、地域福祉に関する情報発信を充実することで、地域共生社会に関する意識を醸成するとともに、世代間交流をはじめとする交流機会の提供、地区社協への支援等を通じて、地域におけるふれあいの機会を充実させていきます。

1 地域共生の意識づくり

(1) 住民主体の地域福祉推進に向けた福祉教育

① 学校における福祉教育の推進

ア “赤い羽根” 福祉教育実践校事業

児童・生徒の福祉への理解と関心を高めるため、市内の福祉教育実践校(小中学校、高等学校)と連携して、福祉に関する講話や体験学習などの福祉教育を推進しました。

公立小中学校・・・27校(市内全校)

高等学校・・・4校(藤枝北高、藤枝西高、静清高、藤枝東高) 計31校

助成金：18校 923,000円(前年度18校 787,000円)

《各実践校の実施状況》

学校名	時期	対象学年	内容等
瀬戸谷小学校	通年	1年	安全で学んだことを劇で披露、昔の遊び
		2年	歌、かるた、昔の遊び
		3年	自分たちが手もみした茶葉でお茶を淹れる お茶について学んだことを発表、歌
		4年	歌、折り紙
		5、6年	ささゆりの会、ソーラン節の披露
		6年	介護士の講話と仕事体験
稲葉小学校	通年	1、2年	地域の方との交流会(グラウンドゴルフ・昔の遊び)
		3、4年	グリーンヒルズ交流(簡単なゲーム、楽器演奏)
		5、6年	友愛訪問(2回)
		全校生徒	「ありがとうステージ」誰にどのような感謝の気持ちを表すか話し合い、メッセージを作成し渡す
葉梨小学校	通年	5年	福祉学習・福祉体験 (UD探し、福祉講話、アイマスク体験、車イス体験、グループワーク、発表)
		6年	キャリア教育の一環として様々な職業を知る
		全校生徒	【道徳】障害について、命の授業 自分と世界の子 どもたちを比べて 【特別活動】1・6年、2・5年、3・4年のペア活動 【福祉委員会】あいさつ運動、赤い羽根共同募金

西北小学校	通年	4年	身体に不自由がある人たちの生活について (疑似体験セット、動画視聴) パラリンピックについて (ボッチャ・シッティングバレー)
広幡小学校	通年	1年	地域の人とむかしあそびを楽しもう
		2年	みんなが使う場所の工夫
		3年	元盲導犬ユーザーとの交流
		4年	広幡の安全、ユニバーサルデザインについて
		5年	SDGs から学ぶ
		6年	職業体験学習 (介護福祉士の仕事) 牧之原市を支援しよう (有志ボランティア)
		4、5、6年 有志	介護施設で合唱披露
		全校生徒	アルミ缶回収・募金 (牧之原市・ユニセフ)
西益津小学校	通年	5年	福祉について、視覚障害者講話・アイマスク体験・ボイスメッセージ作成、聴覚障害者の講話・手話体験、まとめ、発表
藤岡小学校	通年	5年	ユニバーサルデザイン～藤岡をもっとみんなにとって住みやすい町にしよう～ 聴覚障害者の講話、身体障害者の講話、高齢者疑似体験、自治会長より高齢者を支える取り組みについて講話、藤岡福祉交流会の開催
藤枝小学校	通年	4年	福祉って何だろう、福祉×れんげじスマイルホール、まとめ、発表会
藤枝中央小学校	通年	1年	地域のお年寄りとの交流、幼稚園児との交流
		4年	福祉とは、ユニバーサルデザイン調べ、パラスポーツ体験、高齢者疑似体験、視覚障害者の講話・アイマスク体験、ボッチャを通して知能障害について学ぶ、聴覚障害者の講話・点字体験、肢体不自由者講話・交流、まとめ、発表
青島小学校	通年	5年	福祉についての講話、高齢者福祉について、視覚障害者の講話・アイマスク体験、車いすユーザーの講話、まとめ、発表
青島北小学校	通年	5年	UD探し、福祉とは、高齢者疑似体験、点字体験、車イス体験、アイマスク体験、追究、発表
		全校生徒	アルミ缶回収、募金活動
青島東小学校	通年	4年	福祉って、視覚障害者の講話、聴覚障害者の講話、高齢者・傷病者について講話、調べ学習
高洲小学校	通年	4年	福祉教育 (総合的な学習の時間)
		全校生徒	V S (ボランティア・サービス) 活動 (校内奉仕作業) アルミ缶回収
高洲南小学校	通年	4年	福祉のお仕事魅力発見セミナー、学校の中の福祉探

			し、聴覚障害者の講話・手話体験、包括支援センターの講話、地区の移動支援、生活支援ボランティアの講話、肢体不自由者の講話、調べ学習、発表
大洲小学校	通年	4年	大洲のバリアフリー考察、アイマスク体験、高齢者疑似体験、藤枝特別支援学校先生の講話・車イス体験、特別支援学校児童（肢体学級）との交流会、追究、発表
朝比奈第一小学校	9月～2月	3年	福祉ってなに？、視覚障害者の講話・白杖・ガイド体験、点字体験、点訳本作成、UDについて講話・使用体験
岡部小学校	7月～2月	2年	福祉とは？、アンプティーサッカー体験、高齢者交流、車イスバスケット体験、調べ学習、発表会
瀬戸谷中学校	通年	1年	包括支援センター講話、高齢者疑似体験
		全校	サロンとの交流、発表
葉梨中学校	通年	2年	福祉って？、お年寄りとの交流（高齢者施設訪問）
広幡中学校	5月	2年	車イス体験、妊婦体験
西益津中学校	11月～3月	2年	保健所の講話。視覚障害者の講話、肢体不自由者の講話、まとめ、発表、高齢者体験、白杖体験、車イス体験、移動支援ボランティア講話
藤枝中学校	通年	3年	乳幼児とのふれあい体験
		全校生徒	ユニセフ募金活動、赤い羽根共同募金
青島中学校	通年	全校生徒	エコキャップ・ベルマーク回収、赤い羽根募金
青島北中学校	6月～11月	2年	福祉学習（障害への理解、共生社会への理解）講話・体験
		3年	防災学習・炊き出し訓練、避難所運営ゲーム、防災講話
高洲中学校	通年	2年	職場体験
		全校生徒	あいさつ運動、高洲ふれあいまつり、地元企業とのコラボ企画
大洲中学校	9月～12月	1年	車イスユーザー、視覚障害者、聴覚障害者の講話・体験学習・発表、特別支援学校訪問・交流
岡部中学校	6月～9月	2年	高齢者疑似体験
		3年	幼稚園・保育園児との交流
		全校生徒	古紙、アルミ缶回収、赤い羽根共同募金、古タオル・ペットボトルキャップ回収
藤枝東高校	通年	JRC部	文化祭展示、地域清掃活動、救命救急協議会、チャリティーバザー、募金活動、校内美化活動、放課後等デイサービス、幼稚園のボランティア
藤枝北高校	通年	食農科学部	子ども食堂等へ野菜の寄付
		全校生徒	赤い羽根共同募金

藤枝西高校	通年	家庭部	保育ボランティア、体育祭（園児招待、ゲーム）
静清高等学校	通年	文理科	高齢者施設福祉体験、防災 HUG ゲーム、高齢者疑似体験、高齢者の食事調理実習

イ “赤い羽根” 福祉教育実践校連絡会

学校・地域講師・市社協が共通認識をもって福祉教育を推進するため、福祉教育実践校の福祉教育担当教員を対象にした福祉教育実践校連絡会を開催しました。第1回は、福祉教育地域講師連絡会と合同開催とし、令和6年度の実践について振り返るとともに、下田市社協の職員を講師に迎え、今年度の福祉教育実践に向けて、柔軟な考え方や多角的な視点を持つことへの気づきを促しました。第2回目では、一年間の福祉教育実践活動の中から、新たなプログラムづくりの参考となる取組について報告を行いました。

【第1回】

実施日：令和7年5月8日

会 場：岡部支所分館 集会室

内 容：報 告「令和6年度福祉教育取組み報告」

報告者 藤枝市立大洲中学校 小宮 一晃 教諭

講 話「福祉教育の可能性を広げよう」

講 師 下田市社会福祉協議会 主幹 久保田 勝 氏

参加者：37名（内訳：教員27名 地域講師8名 市2名）

【第2回】

実施日：令和8年2月19日

会 場：藤枝地区交流センター 集会室

内 容：

報告①「高齢者施設×コミュニティ・スクールディレクター×学校が連携し、高齢者福祉施設との交流が実現するまでの過程、取り組み、工夫」

報告者：藤枝市立葉梨中学校 三原 涼可 教諭

報告②「“おすそわけ”でつながる笑顔の輪、部活で育てた野菜を子ども食堂へ寄付する仕組みづくりに挑戦」

報告者 静岡県立藤枝北高等学校2年 石田 広人 氏

サポート 長田 明雄 教諭

報告を聞いての意見交換

参加者：27名（内訳：教員22名 報告者4名、市1名）

② 高齢者疑似体験インストラクター連絡会

高齢者への理解を促進し、地域の高齢者を支える環境を整える活動をしている高齢者疑似体験インストラクターのスキルの維持、向上を図るため、連絡会を開催しました。

実施日：令和7年6月18日

会 場：福祉センターきすみれ

内 容：意見交換 ・インストラクターとして活動してみて感じていること
・高齢者疑似体験授業内容の振り返り
高齢者疑似体験セット装着実習

参加者：3人

③ “赤い羽根” 藤枝市福祉教育地域講師連絡会(福祉教育実践校連絡会と合同開催)【再掲】

学校・地域講師・市社協が共通認識持って福祉教育を推進するため、福祉教育実践校の福祉教育担当教員を対象にした福祉教育実践校連絡会と合同開催しました。

実施日：令和7年5月8日

会 場：岡部支所分館 集会室

内 容：報 告「令和6年度福祉教育取組み報告」

報告者 藤枝市立大洲中学校 小宮 一晃 教諭

講 話「福祉教育の可能性を広げよう」

講 師 下田市社会福祉協議会 主幹 久保田 勝 氏

参加者：37名（内訳：教員27名 地域講師8名 市2名）

④ “赤い羽根” 中高生福祉体験事業（冬スベ☆THE☆ふくし）

中学生・高校生を対象に、日頃の授業や部活動等では体験できない活動を通し、福祉に対する理解や関心を深めることを目的に開催しました。

実施日：令和7年12月6日

会 場：稲葉地区交流センター 学習室 他

内 容：認知症の人と交流をしながら、認知症への理解を深めるとともに、認知症に対する市内の取り組みを知る

①交 流：調理実習や会食等を通じた交流会

②講話1：「認知症を理解しよう～市の認知症に対する取り組みを知ろう～」

講師：藤枝市地域包括ケア推進課 横山 麻衣 氏

講話2：「地域で活躍している認知症の人にやさしい事業所の取り組みを知ろう」

講師：有限会社 塚本興業 代表取締役 塚本 貴生 氏

参加者：16名

（内訳：中高生10名、認知症当事者2名、ケアマネ1名、市2名、企業1名）

⑤ “赤い羽根” 大人のための福祉講座

福祉について学ぶ機会が少ない社会人を対象に、一人ひとりが福祉について考える機会をつくることを目的に開催しました。

実施日：令和8年1月31日

会 場：青島北地区交流センター集会室

内 容：講座 あなたの街が被災したら～自分たちができる被災者支援を考える～

講師 （一社）BIG UP 石巻 阿部 由紀 氏

参加者：65名

⑥ “赤い羽根” 障害のある人への理解を深めていく福祉教育

心の温暖化計画 ～交流会だよ全員集合！！

社会福祉法人ハルモニアとともに、地域住民との相互理解、顔の見える関係づくりを目的に、施設利用者と地域清掃活動・交流会を行いました。

⑦ 福祉教育推進検討委員会

関係機関が共通認識を持ち、より活発かつ効果的に福祉教育を推進するため、地域福祉研究所主宰の山本 伸晴氏を委員長とした9名の委員で福祉教育推進検討委員会を開催し、学校教育における福祉教育の現状と課題を共有するとともに、日常生活と関連づけた福祉教育のあり方について検討を行いました。

実施日：①11月18日、②令和8年1月14日、③2月12日、④3月12日

会 場：①②④生涯学習センター、③福祉センターきすみれ

(2) 住民参加による生活支援

① 生活サポートサービス「^{おおえんたい}キー坊大縁隊」

支え合う地域づくりを推進するため、サポートを必要とする人に、地域住民が清掃やごみ出し、草取りなどの支援を行う、住民相互で支え合う会員制の生活サポートサービス「キー坊大縁隊」による生活支援を行いました。

《登録状況》・・・利用会員 34人／サポーター 37人

(前年度 利用会員 31人／サポーター 36人)

《主なサービス内容》・・・利用者宅の日常的な清掃、草取り、ゴミ出し、話し相手等

月	依頼件数	実施延べ件数	実働延べ時間	利用会員実人数	サポーター活動実人員
4月	31	34	25	11	9
5月	41	42	40	14	10
6月	36	36	26	11	9
7月	31	31	26	11	8
8月	28	28	20	8	8
9月	28	28	19	10	8
10月	30	30	19	10	10
11月	32	32	21	13	9
12月	27	27	13	10	9
1月	24	24	7	8	6
2月	22	22	6	7	7
3月	33	33	8	12	9
計	363件	367件	230時間		
前年度	317件	331件	249時間		

(3) 地域福祉活動に関する情報発信

① 広報・啓発事業

ア 社協だより

本会の事業を広く地域住民に伝えるため、「ふじえだ社協だより」No.238、No.239、No.240、No.241 を発行し、市内全戸に配付し広報、啓発を行いました。

イ 市社協ホームページ

本会の事業目的や地域活動等をより分かりやすく発信できるよう、令和7年12月に本会ホームページを全面リニューアルしました。ホームページを随時更新して最新情報を発信しました。

ウ メディアを通じた情報発信

テレビ・新聞各社にプレスリリースを行い、積極的に情報発信しました。

《実績》

- ・赤い羽根共同募金社会貢献型自動販売機設置（TOKAI ケーブルTV、静岡朝日テレビ、SBSテレビ、テレしず、Daiichi-TV、静岡新聞）
- ・青島地区社協の活動（SBSテレビ、元気しずおか人）
- ・地区社協の行動目標・行動方針策定（静岡新聞）

エ 声の広報・点字の広報発行事業（一部 市委託事業）

視覚に障害のある人の情報保障や社会参加促進を図るため、ボランティア団体の協力を得て「ふじえだ社協だより」「広報ふじえだ」「藤枝市議会だより」の声の広報及び点字の広報を作成し配付しました。

(ア) 声の広報作成事業（ふじえだ社協だより4回、市広報12回、市議会だより4回）

協力団体：サークルふじ

発行部数：16部（14部を利用者に送付、2公共施設に1部ずつ送付）

利用者数：14人

(イ) 点字広報作成事業（ふじえだ社協だより4回、市広報12回、市議会だより4回）

協力団体：ピッコラ、点訳サークルひまわり

発行部数：5部（2部を利用者に送付、3公共施設に1部ずつ送付）

利用者数：2人

オ 市社協公式 SNS を利用した情報発信

必要な情報をリアルタイムに住民に届けるため、SNSを活用した情報発信を行いました。既存のSNS（LINE、Facebook）に加え、令和7年度は、幅広い世代へ広報・啓発を促進するために、各SNSの運用や投稿管理についてマニュアルを整備し、社協公式Instagramの運用を再開しました。

	LINE	Facebook	Instagram
総登録者数	349人	319人	131人
前年度総登録者	284人	295人	12人

カ ふれあいまつり等での社協活動 PR

地域諸団体のイベントにて市社協ブースを設け、市社協で行っている事業の PR や福祉活動の広報・啓発を行いました。

【各地区ふれあいまつり】

開催日：

令和 7 年 11 月 2 日（日） 西益津地区、青島南地区

令和 7 年 11 月 9 日（日） 稲葉地区、藤枝地区、青島北地区、高洲地区、大洲地区、岡部地区

令和 7 年 11 月 16 日（日） 瀬戸谷地区、葉梨地区、広幡地区、朝比奈地区

会 場：各地区交流センター

内 容：社協 PR、福祉に関するクイズ大会、レクリエーション

【青中まつり】

開催日：令和 7 年 8 月 23 日（土）

会 場：青島中学校

内 容：社協 PR、福祉に関するクイズ大会、レクリエーション

【第 33 回子ども会フェスティバル】

開催日：令和 7 年 10 月 26 日（日）

会 場：藤枝市生涯学習センター

内 容：社協 PR、福祉に関するクイズ大会、レクリエーション

② 藤枝市健康福祉大会の開催

広く住民に健康・福祉の啓発を行うため、市と共催で藤枝市健康福祉大会を開催し、市社協会長表彰を行いました。また、ステージ上で中学生による福祉教育に関する活動報告・障害者によるダンスの披露等を行い、展示・物品販売ブースでは福祉施設や福祉団体の活動 PR・物品販売を行いました。同時に地域の活力向上などに取り組んだ 75 歳以上を対象に表彰する市の「元気はつらつシニア大賞」の授与も行われました。

開催日：令和 7 年 9 月 20 日（土）

会 場：藤枝市民会館

内 容：表彰、ステージ発表（岡部中学校、ダンスカンパセーションクルー）ロビーにて展示・物品販売ブースの開設

参加者：413 人（前年度 430 人）

◆◆◆成果◆◆◆

福祉教育推進検討委員会では、福祉教育を行うことの意義や目的を確認し、課題や今後の方向性について検討しました。学校の授業で体験学習をすれば終わりではなく体験と日常を結びつけること、学校と地域の連携を強化すること等を共有しました。

健康福祉大会では、表彰やステージ発表等を通じ、本市で福祉活動に従事されてきた方々や団体の活動内容や取り組み内容について発信・啓発することができました。

◆◆◆課題◆◆◆

福祉教育を学校だけでなく地域が一緒になって行うためにはどのようなことが考えられるか等について、福祉教育推進検討委員会を通じ、継続した検討が今後とも必要だと再認識しました。また、静岡県社協の第6次活動推進計画においても、地域福祉教育の推進が重点目標に掲げられているため、県社協とも協働し、内容についても検討していきます。健康福祉大会については、来場者が福祉関係者や表彰関係者が多く、より幅広い年齢層の方に来場していただくために、魅力ある大会内容にしていけることが課題となっています。

2 ふれあいを深める地域づくり

(1) ふれあいの場・居場所づくりの推進

① ふれあいサロン事業

住み慣れた地域で日常的に集まり、楽しめる居場所づくりを推進するため、地区社協及び福祉団体など地域のボランティアが運営するふれあいサロンへ助成を行うとともに、新規のサロンの立上げや、運営に関する支援を行いました。

登録人数：会員 1,745 人、ボランティア 962 人

(前年度 会員 1,842 人/ボランティア 962 人)

内 容：各種講話、健康体操、レクリエーション等

実 施：72 カ所（高齢者 69、子育て 3）

ア 高齢者サロン

実施地区	サロン数	前年度比	対象地域
瀬戸谷	3	0	市之瀬、中里、滝ノ谷
稲 葉	3	0	堀之内、谷稲葉、助宗
葉 梨	7	0	白藤、第2自治会、上藪田、高田、清里、時ヶ谷第2・4、時ヶ谷第3
広 幡	8	0	水守、八幡、鬼島、上当間、下当間、仮宿、潮、横内
西益津	9	0	郡2、長楽寺2、益津下、平島第1、平島第2（2カ所）、平島第3、平島第4、稲川
藤 枝	9	0	原、木町、市部、藤岡、五十海、千歳、藤岡4、本町、岡出山
青 島	10	0	田沼南、メゾングランツ藤枝、駿河台、志太、芙蓉台、追分西、青南町、瀬古1・2、瀬古3、青島第4自治会
高 洲	8	0	高柳仁平、高柳切島、兵太夫中、兵太夫上1～4、与左衛門（2カ所）、大新島、築地
大 洲	4	0	大東町、弥左衛門、泉町、忠兵衛
岡 部	7	0	第2自治会（旧第2）、第4自治会、第5自治会、村良、横添、旭ヶ丘、本郷
市全域	1	0	
計	69	0	

助成金：69 サロン中 64 サロン／計 3,972,000 円
 (前年度 69 サロン中 64 サロン／計 3,892,000 円)

イ 子育てサロン

実施地区	サロン数	前年度比	対象地域
青 島	2	0	田沼南他、前島
藤 枝	1	0	藤枝地区全域
計	3	0	

助成金：3 サロン／計 270,000 円 (前年度 3 サロン／計 270,000 円)

② みんなの居場所事業

年齢や障害の有無に関わらず、いつでも誰でも気軽に立ち寄れ自由に過ごすことができる地域の居場所づくりを促進するため、今年度は助成金を活用しやすいように「おいで事業」と「誰もが集える居場所（地域の居場所）事業」の2つの事業を統合し、みんなの居場所事業を行う団体に対し、助成を行うとともに情報共有等の支援を行いました。また、新たに開設されて、活動を始めた団体に対しては開設準備金の交付も併せて行いました。

実 施：22 カ所

(新) は R7 年度に新たに登録された団体

実施地区	総数	名称
稲 葉	3	わくわくランドいなば、やいなばわくわくランド (新)、わくわくランド助宗 (新)
葉 梨	1	はなしカフェ下藪田
広 幡	1	ほっとな居場所おんじま
西益津	1	西益津いきいきランド
藤 枝	3	おはなし長屋、子どもの本まり一文庫、原っ PA
青 島	8	ほっとな居場所 輪笑、くつろぎカフェ かいらハウス、田沼支え愛の会、健康遊々デー、縁が輪、こどものフリースペースびよんたろう、みんなの居場所 くるま座 (新)、友愛クラブ (新)
高 洲	2	古民家カフェ ぶらり、通所介護たかす よってこ高洲
大 洲	1	おいで おおす
岡 部	2	三輪向原たのしい会、三輪三世代居場所交流会 (新)
計	22	

助成金：13 団体／1,033,410 円

(前年度：おいで・1 団体／計 100,000 円 地域の居場所 7 団体／計 294,000 円)

③ ふれあい会食会事業

地域の人との交流や介護予防のため、自治会や民生委員・児童委員、ボランティアが一人暮らし高齢者等を対象として開催しているふれあい会食会のうち、月 1 回以上開催されている会食会に対して助成を行うとともに運営に関する支援を行いました。

実施地区：瀬戸谷、葉梨、西益津、藤枝、高洲、大洲、岡部

登録人数：会員 185 人、ボランティア 51 人(前年度 会員 185 人、ボランティア 86 人)

内 容：会食、各種講話、健康体操、レクリエーション等

助 成 金：7 団体／計 969,400 円 （前年度 7 団体／計 1,048,000 円）

④ 障害のある人等を対象にした夕方以降の居場所事業

“赤い羽根” 夕焼けサロン

障害のある人が通所施設等から帰宅後に家庭以外の場で社会とつながりを作ることができる場をつくるため、夕方以降の居場所として「夕焼けサロン」を開催しました。参加者はお茶やゲームで楽しむ他、提供する食事の調理にも参加しています。今年度からは、より多くの地域に住む方も参加しやすくなるよう、新たに「かいらハウス」や「地域活動支援センターきずな」にもご協力いただきました。

実施日：①令和7年5月16日、②6月20日、③7月18日、④8月22日

⑤9月19日、⑥10月17日、⑦11月21日、⑧12月19日

⑨令和8年1月16日、⑩2月20日、⑪3月13日

会 場：①③⑤⑦⑨⑪福祉センターきすみれ、②④⑥かいらハウス

⑧ポップライフ、⑩かいらハウス、藤枝市地域活動支援センターきずな

参加者：①20人、②25人、③26人、④30人、⑤23人、⑥25人、⑦25人、⑧31人、

⑨32人、⑩29人、⑪40人 計延べ306人（前年度 延べ172人）

⑤ 土曜の居場所「まるっとカフェ」事業 **重点**

誰でも気軽に参加することのできる居場所「まるっとカフェ」を土曜日に開催し、同時にちょっとした心配事の相談に応じる「まるっと相談会」も実施しました。店舗と連携し、緩やかな雰囲気を訪れやすい場をつくることで、相談者の困りごとの掘り起こしを行い、さまざまな課題を抱えている方とつながるきっかけをつくることができました。

実施日：①7月12日、②9月20日、③10月18日、④12月6日、⑤令和8年2月22日

会 場：杏林堂薬局 藤枝駅北店

参加者：①16人、②10人、③8人、④10人、⑤15人

⑥ 子ども食堂支援事業

子どもへの食事の提供や孤食の解消のため、子ども食堂実施団体の情報収集を行うとともに、寄附や助成金に関する情報提供などの支援を行いました。

藤枝市内の実施団体：6 団体

(2) 地区社協への支援

① 地区社協活動への助成

ア 地区社協運営助成金及び地区社協地域福祉活動事業助成金

住民主体の地域福祉活動を推進するため、各地区社協へ運営費及び各種事業に対する事業費の助成を行いました。

《助成詳細》

(括弧内前年度)

助成の区分		対象	助成支払合計額
地区社会福祉協議会運営助成金		10 地区 (10 地区)	4,742,540 円 (5,140,850 円)
地域福祉活動事業助成金	福祉推進事業	10 地区 (10 地区)	1,380,000 円 (1,363,000 円)
	地域福祉懇談会	8 地区 (8 地区)	145,000 円 (145,000 円)
	ふれあいまつり	10 地区 (10 地区)	1,100,000 円 (1,100,000 円)
	実行組織をつなぐ事業	2 地区 (3 地区)	55,000 円 (80,000 円)
	実行組織活動支援	6 地区 6 団体 (10 地区 19 団体)	273,000 円 (556,000 円)
		合計	2,953,000 円 (3,244,000 円)

《福祉推進事業内容》

地 区	福祉推進事業
瀬戸谷	①ジュニア福祉委員活動 ②広報紙の発行 ③三世代交流事業
稲 葉	①ジュニア福祉委員活動 ②広報紙の発行 ③三世代グラウンドゴルフ大会 ④福祉講演会 ⑤友愛&わくわくランドいなばまつり
葉 梨	①福祉講演会 ②広報紙の発行 ③三世代交流グラウンドゴルフ大会
広 幡	①広報紙の発行 ②三世代交流輪投げ大会 ③福祉講演会 ④子ども福祉講座
西益津	①広報紙の発行 ②三世代歩け歩け運動 ③住民福祉講座
藤 枝	①福祉講演会 ②広報紙の発行 ③三世代交流 ④子ども福祉講座 ⑤障害者との交流
青 島	①老人憲章(絵手紙) ②老人憲章(似顔絵・作文) ③広報紙の発行 ④三世代交流健康ウォーキング大会
高 洲	①広報紙の発行 ②住民福祉講座 ③防災研修会 ④子ども福祉講座 ⑤三世代ふれあいイベント
大 洲	①大洲地区ジュニア福祉交流会活動 ②大人のためのボランティア講座 ③中学生ボランティア講座 ④広報紙の発行 ⑤栃山川健康ウォーキング大会 ⑥大洲ふれあいスポーツの集い
岡 部	① 住民福祉講座 ②広報紙の発行 ③友愛訪問事業 ④子ども福祉講座

② 地区社協活動の体制強化支援

地区社協の活性化を図るため、総会や理事会等の役員会、専門部会、企画委員会への出席、地域福祉懇談会開催に向けての打合せ、そこでのグループワークの進行や情報共有のための話題提供・現状報告、新しい事業の実施に向けた調整や打合せ等を行いました。

ア「企画委員会機能」の強化支援

各地区社協で開催される企画委員会に出席し、地域が抱える課題解決に向けた話し合い等を活発に行えるよう、運営のサポートを行ったほか、企画委員のレベルアップのため、研修会等を開催しました。

《企画委員会セミナー》

実施日：令和7年7月24日

会 場：岡部支所分館 集会室

内 容：企画委員会の役割について

地域を数字で把握する～現状と予測～

講 師：里山くらしLABO 池田 水穂子 氏・河村 将雄 氏

参加者：各地区社会福祉協議会 企画委員・役員・事務局 33人

《全体連絡会》

【第1回】

実施日：令和7年4月25日

会 場：葉梨地区交流センター 集会室

内 容：講演「みんなで「つながり」地域で「支え合う」まちづくりに向けて」

新行動目標・行動方針の策定について

令和6年度の地区社協への支援について

講 師：藤枝市社協地域福祉アドバイザー 西尾 敦史 氏

参加者：72人

【第2回】

実施日：令和8年2月27日

会 場：生涯学習センター ホール

内 容：令和4年～令和7年の行動目標・行動方針の評価について

令和8年からの新行動目標・行動方針について

講 師：藤枝市社協地域福祉アドバイザー 西尾 敦史 氏

参加者：51人

《地区社協事務局連絡会》

実施日：令和7年5月15日

会 場：福祉センターきすみれ

内 容：地区社協について、行動目標・行動方針の策定について

地区社協関係の助成金について

参加者：11人

イ 各地区社協の行動目標・行動方針の周知、進行管理支援

各地区社協の行動目標・行動方針について、地域の課題を意識した取組や、令和8年度から新たにスタートする目標・方針の策定について会議等で助言を行いました。各地区社協で策定した目標・方針は冊子『レッツ★エンジョイ！地区社協』を発行し、周知を図りました。

③ 地域福祉アドバイザーの配置

地域福祉を効果的に推進するため、令和6年4月から愛知東邦大学 西尾 敦史 氏を地域福祉アドバイザーに委嘱しています。アドバイザーから本会の地区担当職員が地区社協活動を支援する上での困りごとや悩みごとについて、相談会等を通じ、解決に向けた助言を受けました。

【地区担当者相談会】

実施日：令和7年7月25日、10月24日、令和8年2月27日

会 場：福祉センターきすみれ、生涯学習センター

④ コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の配置 **重点**

地域の多様な困りごとを抱える人に対し、個別の相談から関係機関との連携、協働による解決に向けた支援へ繋げることができるよう、昨年度2地区に配置したコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を市内10地区に6名配置しました。地域に出向き、困りごとの早期発見や地域住民との関係構築を行うとともに、各団体や各種相談機関が主催する会議等に参加し、社会資源・福祉課題の把握に努めました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
相談件数	24	18	23	34	26	28	25	19	19	31	20	24	291 件
地域づくりに 向けた支援	85	150	162	153	115	158	146	127	110	95	129	168	1,598 件

（3）“赤い羽根”地域福祉講演会

地域住民が福祉について理解を深め、地域社会全体で支え合う意識を高めることを目的として開催しました。

実施日：令和7年9月4日

会 場：生涯学習センター

内 容：講演「“おせっかい” しちゃダメですか？」

講 師：大阪ボランティア協会 理事長 早瀬 昇 氏

参加者：96 人

◆◆◆成果◆◆◆

令和7年度は次年度からの新しい行動目標・行動方針策定の年であったため、各地区がこの先どのような地域にしていきたいのかを一緒に寄り添って考えていくことで、地区社協との連帯感が向上しました。地域福祉アドバイザーとの勉強会では、行動目標・行動方針の冊子や地区カルテの掲載内容及び活用について他市町村の取り組みを交えながら学び、検討することができました。

◆◆◆課題◆◆◆

企画委員会と福祉講演会については、次年度は開催しないためそれに代わるものや、各地区に対しての働きかけをどのように行っていくのか検討していきます。

ふれあいサロンやふれあい会食会がボランティアの高齢化等によって解散を迎える団体が増えています。居場所等の違う形で継続することができるのか、そのためにはどのような支援が必要なのかを検討し各地区に働きかけをしていきます。

基本目標 2 安心して地域で暮らせるまちづくり

年齢や障害の有無にかかわらず誰もが安心して地域で自分らしい暮らしを実現することは、地域福祉の根幹となります。地域における見守り活動や地域課題の早期発見・早期解決が可能な地域づくりを進めるとともに、緊急時や発災時に安心して過ごすための防犯・防災対策や、年齢や性別、身体状況にかかわらず快適に暮らすための環境整備を進めます。また、誰もが自分らしく活躍できるまちづくりを進めるために、市民の権利が守られるまちづくりを推進しました。

1 孤立させない地域づくり

(1) ふれあいの場・居場所づくりの推進【再掲】

2 防犯・防災の地域づくり

(1) 災害ボランティアの活動支援

① 災害ボランティア・コーディネーター藤枝（VCF）への支援

有事の際、円滑に災害ボランティアセンターを運営するため、VCF の定例会に出席するなどし、連携強化や情報共有を行いました。

出席回数：12 回（うち、総会 1 回）

(2) 災害ボランティアセンターの機能強化に向けた整備

① 藤枝市災害ボランティアセンターの運営

ア 災害ボランティアセンター運営訓練

実施日：令和 7 年 10 月 19 日（福祉センターきすみれ）

参加者：災害ボランティア・コーディネーター藤枝、藤枝市福祉政策課
藤枝市包括ケア推進課

内 容：災害ボランティアセンターの立ち上げ訓練

イ 災害ボランティア活用機材の整備

災害発生時に円滑に災害ボランティアセンターが運営できるよう、VCF の協力のもと、各倉庫にある災害ボランティア活動で活用する資機材の点検を行いました。

実施日：令和 7 年 10 月 19 日（福祉センターきすみれ、亀寿の郷）

令和 7 年 11 月 17 日（愛華の郷）

令和 7 年 11 月 18 日（ふじトピア）

ウ 藤枝市災害ボランティアセンター運営連絡会

「藤枝市災害ボランティアセンター」の役割と立ち上げ過程、運営方法（ICT の活用方法を含む）について理解し、円滑かつ効果的に運営するため、また静岡県・焼津市・藤枝市合同の総合防災訓練と災害ボランティアセンター運営訓練を同時開催するため、訓練内容について市と協議しました。

実施日：令和 7 年 5 月 12 日

(3) 周辺市町との連携の強化

① 災害広域連携事業

発災時に近隣社協間で災害ボランティアセンター運営に関して相互支援ができる関係を築くため、情報交換や研修会を実施するための調整を行いました。

《打合せ》

実施日：令和7年6月3日、8月8日、11月21日、12月22日、3月5日（ZOOM開催）、
令和8年3月27日（会場：島田市社会福祉協議会）

内 容：研修会打合せ、情報交換、振り返り 他

《講演会》

実施日：令和8年2月10日（会場：ウェルシップやいづ）

内 容：「なぜ社協が災害ボランティアセンターを担うのか」

講師 社会福祉法人呉市社会福祉協議会 総合相談支援室 室長 近藤吉輝 氏

(4) その他

① 台風15号に伴う本会ボランティアセンターの活動内容

令和7年9月5日に志太榛原地区を襲った台風15号により、藤枝市内でも床上・床下浸水等の被害が発生しました。本会ボランティアセンター（福祉センターきすみれ内）では、ボランティア派遣による被災状況の現地調査や家財等の運び出しなどを行いました。

実施期間：令和7年9月6日～10月6日

現地調査：26世帯（市内葉梨、藤枝、高洲、岡部地区）

ボランティア活動：家財等の運び出しなど（延べ10世帯で延べ20名が参加）

② 牧之原市災害ボランティアセンターへの職員派遣

令和7年9月5日に発生した台風15号に伴う竜巻被害に対し、「静岡県・市町社会福祉協議会における災害時相互支援協定第4条」に基づき、牧之原市災害ボランティアセンターの運営をサポートするため、職員6名（延べ11名）を派遣しました。

派遣日：①令和7年10月4日～5日、②10月11日、③10月25日

派遣先：牧之原市災害ボランティアセンター

③ 地域防災連絡会への出席

各地区で実施される地域防災連絡会に出席し、発災時には、災害ボランティアセンターが立ち上がること、市社協が災害ボランティアセンターを運営する等の情報提供を行いました。

出席日：①6月12日、②6月13日

会 場：①岡部支所分館 ②青島南地区交流センター

④ 災害勉強会の実施

災害発生時における対応について、本会職員とVCFで共有するとともに、現地調査等の災害時の行動についても実習を通じて学習する機会を設けました。

実施日：令和 8 年 1 月 23 日（福祉センターきすみれ）

参加者：災害ボランティア・コーディネーター藤枝、本会職員

内 容：講話…災害時の支援について 実習…現地調査、電話対応

講 師：災害ボランティア・コーディネーター藤枝 青島良夫 氏

◆◆◆成果◆◆◆

令和 7 年度は静岡県の防災訓練の開催地が焼津市と藤枝市であったため、開催日に合わせて災害ボランティアセンター運営訓練を行いました。また、災害勉強会を開催し災害発生時の初動や災害時の支援について、本会職員と VCF との間で共有することができました。

◆◆◆課題◆◆◆

災害ボランティア・コーディネーター養成講座ではなく、災害勉強会を実施したため、新しいコーディネーターの養成ができませんでした。令和 8 年度は VCF をはじめとした各協力団体との連携強化に向けて、災害時におけるネットワーク構築のための連絡会を実施する予定です。

広域連携事業で、4 市 2 町のボランティア事前登録について話し合いを行っていますが、藤枝市としては検討中です。

3 人にやさしいまちづくり

(1) 権利擁護の推進

① 成年後見支援センター事業（市委託事業）

判断能力が不十分な人の財産や権利を保護するため、市から委託を受け、福祉センターきすみれ内に成年後見支援センターを設置し、成年後見制度に関する相談や制度の周知、申立支援等を行いました。このうち、内容が特に複雑な案件については、司法書士による相談につなげました。

ア 成年後見支援センター相談

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度計
相談件数	34	23	30	37	29	46	32	33	21	32	39	41	397 件	383 件
内、司法書士権利擁護相談件数	0	1	2	1	0	2	2	0	0	1	2	1	12 件	19 件

イ 権利擁護・理解促進事業

(ア) 住民向け権利擁護啓発事業

誰もが住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らすことができる地域づくりを目指し、権利擁護に対する関心を深めるとともに、成年後見制度をより身近に感じていただくことを目的に開催しました。

実施日：令和 7 年 10 月 27 日

会 場：生涯学習センター

内 容：①講話「成年後見制度について」 ②映画「お終活」

講 師：①公益財団法人 成年後見センター・リーガルサポート静岡支部

司法書士 青島 英一郎 氏

参加者：107 名

(イ) 医療・介護従事者向け権利擁護啓発研修

介護・医療従事者が成年後見制度に関する知識を身に付け、必要に応じて適切な機関へつなぐ事ができるよう、介護・医療従事者へ向けた成年後見制度に関する研修を行い、各職員のスキルアップを目的として開催しました。

実施日：令和8年1月27日

会 場：青島南地区交流センター

内 容：「成年後見制度の基礎」

講 師：認定社会福祉士 古井 慶治 氏

参加者：20名

(ウ) 成年後見制度入門講座

地域住民や関係機関が「成年後見制度」についての理解や関心を深め、制度をより身近に感じていただくことにより利用促進を図ることを目的に開催しました。

実施日：令和8年2月20日

会 場：青島南地区交流センター

内 容：「成年後見制度の仕組みと手続」

講 師：司法書士 金子 伸也 氏

参加者：33名

(エ) 高齢者・障害者のための相談会・公開講座

地域で住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らすことができる社会を目指し、権利擁護に対する理解を深めるとともに、社会福祉士や司法書士に相談出来る機会を設けることで、地域住民の権利擁護に関する課題解決を図ることを目的に開催しました。（藤枝市・静岡県司法書士会・一般社団法人静岡県社会福祉士会・公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート静岡支部との共催）

実施日：令和7年11月29日

会 場：藤枝地区交流センター

内 容：講話と個別相談

【講話】

第1講「藤枝市の成年後見制度の取組みと現状」

講師 藤枝市社会福祉協議会

第2講「知っておきたい成年後見制度」

講師 棚木 大輔 氏

（一般社団法人静岡県社会福祉士会権利擁護センターばあとなあ静岡社会福祉士）

第3講「相続・遺言・成年後見制度について」

講師 片岡 信介 氏

（成年後見センター・リーガルサポート静岡支部司法書士）

第4講「任意後見制度について」

講師 中村 雅人 氏（焼津公証役場 公証人）

参加者：11名（公開講座） 3名（個別相談）

ウ 権利擁護検討会議の開催

弁護士・司法書士・社会福祉士の法律と福祉の専門職も会議に出席し、権利の擁護が必要な方の支援方針や申立人、後見人等候補者の選定、チーム体制や支援体制を検討しました。

会場	実施日
福祉センター きすみれ	4月28日、5月15日、6月19日、7月10日、8月21日、 9月18日、10月16日、11月20日、12月4日、12月18日、 令和8年1月15日、2月19日、3月19日

検討事例数 累計 41件（高齢29件、障害12件）

うち受任調整 26件（高齢21件、障害5件）

② 市民後見人育成事業（市委託事業）

高齢化社会の進行に伴い、後見人を要する人の増加が見込まれるため、地域の力で権利擁護を推進するため、藤枝市・島田市・焼津市・川根本町の3市1町の共催により、市民後見人の養成を行いました。今年度は、より多くの地域住民に対する成年後見制度や市民後見人の活動周知、受講しやすい環境整備のため、入門講座の実施や講座の一部を動画配信する等の変更を行いました。また、地域住民による権利擁護活動を推進するため、今年度より新たに権利擁護サポーターを創設しました。

ア 第9期市民後見人養成講座

《入門講座》

実施日：①令和7年6月27日、②6月28日

会場：①島田市役所 大会議室 ②焼津市総合福祉会館 多目的ホール

参加者：①22人（藤枝市9人、島田市11人、焼津市1人、川根本町1人）

②14人（藤枝市2人、島田市4人、焼津市8人）

《市民後見人養成講座》

【基礎講座】

実施日：①令和7年7月26日 ②7月28日～8月22日（動画配信）③8月23日

会場：島田市民総合施設 プラザおおるり

受講者：19人（藤枝市7人、島田市8人、焼津市3人、川根本町1人）

《職員による意向確認》

実施日：令和7年9月3日

会場：福祉センターきすみれ

参加者：7人（実務講座受講5人、権利擁護サポーター1人、辞退1人）

【実務講座】

実施日：①令和7年9月13日 ②9月16日～10月24日（動画配信）③10月25日

④施設体験実習

受講者：9名（藤枝市5名、島田市1名、焼津市2名、川根本町1名）

《終了時選考》

実施日：令和7年12月8日

会 場：島田市役所 大会議室

対象者：8名（藤枝市4名、島田市1名、焼津市2名、川根本町1名）

合格者：6名（藤枝市3名、島田市0名、焼津市2名、川根本町1名）

《実務研修に関する説明会（各市町で実施）》

実施日：令和8年1月21日

会 場：福祉センターきすみれ

参加者：4名

イ 第8期市民後見人養成講座

《最終面接》

実施日：令和8年2月17日

会 場：島田市役所 大会議室

参加者：6名（藤枝市5名、島田市1名）

合格者：5名（藤枝市4名 島田市1名）

【市民後見人養成状況：藤枝市】

（単位：人）

	1期生 (H29)	2期生 (H30)	3期生 (R1)	4期生 (R2)	5期生 (R3)	6期生 (R4)	7期生 (R5)	8期生 (R6)	9期生 (R7)	合計
養成講座受講者数	8	3	5	2	2	5	4	6	9	44
途中離脱・不可	1	2	4	0	1	2	0	2	0	12
登録者数(市民後見人)	7	1	1	2	1	3	4	4	－	23
登録者数(権利擁護サポーター※1)	－	－	－	－	－	－	－	－	5	5
他市からの転入登録者※2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
登録削除数	7	0	1	0	0	1	0	0	－	9
現在登録者数(市民後見人)	0	1	2	2	1	2	4	4	－	16
現在登録者数(権利擁護サポーター)	－	－	－	－	－	－	－	－	5	5

※1 令和7年度～新設 ※2 他市で養成講座を受講後名簿登録、以後藤枝市に転入した者

【市民後見人の受任状況】

(1) ②により登録された市民後見人の中で、下記の5人が受任し活動しています。

	類型	養成時期	審判	概要
1	後見	第2期	R5.3.23	司法書士との複数後見を同時選任（知的障害者）
2	後見	第4期	R5.9.27	社会福祉士から追加選任による複数後見（認知症高齢者）
			R6.7.13	社会福祉士辞任により、単独後見へ移行
3	後見	第3期	R6.12.5	司法書士との複数後見（知的障害者）
4	保佐	第6期	R7.6.5	社会福祉協議会の法人後見からの移行（知的障害者）
5	後見	第7期	R7.9.3	司法書士との複数後見（認知症高齢者）

③ 3市1町成年後見推進委員会（市委託事業）

ア 3市1町成年後見推進委員会 当番市：島田市

藤枝市・島田市・焼津市・川根本町の3市1町が実施する成年後見事業に対する連絡調整の場として、成年後見推進委員会を行いました。

会場	実施日
島田市役所 大会議室東西	5月19日、令和8年2月17日

イ 3市1町成年後見推進部会 当番市：島田市

藤枝市・島田市・焼津市・川根本町との3市1町で市民後見人養成講座等の成年後見事業を実施するため、成年後見推進部会を開催し、広域連携のあり方や養成講座の内容について検討しました。

会場	実施日
島田市社会福祉協議会	6月9日、8月4日、10月6日、令和8年1月19日

④ 法人後見事業

支援する人がいない場合や、虐待案件など個人での受任が困難な場合に、法人として後見活動ができる法人後見があります。下記の6人を受任し活動しています。

	成年後見	保佐	補助	計	前年度
受任者数	2 (高齢者1人、精神障害者1人)	3 (知的障害者2人、高齢者1人)	1	6件	5件
(内、新規受任者)	2 (高齢者1人、精神障害者1人)	0	1	3件	1件
終了者	1	1 (知的障害者1人)	0	2件	1件

⑤ 日常生活自立支援事業（県社協委託事業）

認知症高齢者、知的障害や精神障害等の中で判断能力が不十分な人が地域で安心して自立した生活が送れるよう、契約により福祉サービスの利用手続きや公共料金の支払手続き、日常的金銭管理等の支援を実施しました。

《利用者の状況》＊利用料：1,200 円／回※生活保護世帯は自己負担なし（金庫 300 円）

内容	対 象 者(人)				計	前年度
	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他		
利用者数	4	8	21	7	40 人	36 人
(内、貸金庫利用者)	0	2	3	0	5 人	7 人
新規契約者	2	0	2	2	6 人	8 人
解約者	0	0	1	1	2 人	5 人
実働生活支援員					19 人	20 人

《相談援助件数》

内容	本事業の利用に関するもの				その他	計	前年度
	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他			
初回相談件数	5	2	6	13		26 件	23 件
相談援助件数	282	332	1,182	556		2,352 件	2,515 件
計	287	334	1,188	569	0	2,378 件	2,538 件

⑥ その他

ア 専門機関との情報交換会

困難・複雑な生活課題の解決のため、専門機関との情報交換会を開催し、各専門機関同士の、情報交換や知識の共有・人的ネットワークの構築を図りました。

実施日：①令和 7 年 4 月 10 日、② 6 月 5 日、③ 8 月 5 日、④ 10 月 16 日

⑤ 12 月 11 日、⑥ 令和 8 年 2 月 12 日

内 容：事例検討、情報交換 他

(2) 声の広報・点字の広報【再掲】

◆◆◆成果◆◆◆

事業を SNS 等で周知したり、グループホームやサービス付き高齢者住宅等これまで周知を行っていなかった機関等にメールで案内を行ったりした結果、「住民向け権利擁護啓発事業」では参加者が 100 名を超え、「成年後見制度入門講座」では定員を上回る 33 名が参加する等、制度の普及啓発強化につなげることが出来ました。

また、相談対応においては、昨年度を上回る 397 件の相談に対応し、必要に応じて関係機関との情報共有や申立て支援、権利擁護検討会議につなげ、制度の利用しやすい環境づくりに努めることが出来ました。

日常生活自立支援事業については、利用者数は増加傾向にあり、本事業の周知が進んでいることが感じられます。生活支援員については市民後見人養成講座終了者数が増加したことで、利用者数の増加に対しても柔軟に対応することができました。

◆◆◆課題◆◆◆

権利擁護検討会議において、1回あたりの検討ケース増加に伴い、検討の効率化と負担増加の抑制が課題となっています。また、権利擁護支援チームの形成支援に資するため、権利擁護検討会議に諮るまえに関係者間におけるアセスメントが実施されるよう、関係機関に働きかける必要があります。

今年度から養成を開始した権利擁護サポーター及び市民後見人の活躍の幅を広げるために、啓発活動等に協力いただける働きかけをする必要があります。

日常生活自立支援事業については、広く周知が進んだ反面、正しい理解に結びついていないこともあるため、各関係機関には正しい理解を促していく必要があります。

基本目標 3 福祉サービスの充実と利用しやすい環境づくり

複合化・複雑化した課題や現状の支援体制では見逃されてしまう課題に対応するために、高齢、障害、子育て、生活困窮等、これまで強化してきた各機関の機能を最大限に活かしながら、あらゆる相談を受け止め、課題解決に向けた支援を関係機関が協働して行う、包括的支援体制を構築していきます。

また、市民ニーズに沿ったきめ細かな福祉サービスを充実させるとともに、必要な人が必要なサービスにアクセスできるよう情報の発信体制を強化していきます。更に、地域の誰もがそれぞれの能力を発揮し、まちづくりに参画できる環境を充実させていきます。

1 包括的な支援を行う体制づくり

(1) 相談窓口の充実

① 福祉総合相談（ふくし相談）

住民の多様な相談に対応するため、福祉サービスや各種制度の情報提供、資金貸付等に関する相談支援を実施しました。また、相談体制の充実を図るため、市の自立生活サポートセンター内に社協サテライトを併設し、幅広い課題に対応できる体制を整えています。

さらに、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）を配置し、住民や関係機関とのネットワークを活かしながら支援を必要としている人を把握し、本人に伴走しながら困りごとの解決を図っていくことを目指しています。個別支援で把握した地域課題を地域づくりにつなげるなど、個別支援と地域づくりを一体的に進めることで、誰もが安心して暮らせる地域づくりを推進しています。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
社協受付分（※）	24	18	23	34	26	28	25	19	19	31	20	24	291 件
サテライト受付分	101	92	125	110	98	103	85	90	123	103	91	98	1,219 件
総件数	125	110	148	144	124	131	110	109	142	134	111	122	1,510 件

※P15 CSW の相談件数を再掲

② 参加支援・アウトリーチ事業（市委託事業）

地域の複合的課題に対し、早期発見と適切な支援につなぐことを目的に、重層的支援事業の参加支援およびアウトリーチを実施しました。困難を抱える方々に寄り添い、関係機関と連携しながら「伴走支援」と「つなぎ支援」を丁寧に行うことで、誰も取り残さない地域づくりに取り組みました。一人ひとりの状況に応じた支援につなぐ役割として、継続的かつ丁寧な支援を心がけました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
参加支援	2	1	3	0	0	0	0	0	3	4	5	5	23 件
プラン作成	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 件
アウトリーチ	5	4	3	16	1	4	3	6	5	1	2	7	57 件
プラン作成	4	0	2	3	0	0	1	2	1	0	0	1	14 件

③ 家計相談事業（市委託事業）

生活全般に関する困りごとに対応するため、市から生活困窮者自立支援法に基づく自立相談支援事業における相談支援員業務を受託し、市役所内に設置された「藤枝市自立生活サポートセンター」において、家計に関する相談に応じ、改善プランを作成し、家計の再建を支援するとともに広く相談に応じる体制を取っています。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
新規相談件数	6	8	8	6	6	11	4	7	5	8	4	11	84 件	106 件
プラン作成件数	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0	4 件	0 件

④ まるっと相談会【再掲】

複合的な課題を抱える世帯が増加している現状を踏まえ、包括的に相談を受け止める場として、法人内の各部署と連携し、出張相談会を実施しました。

開催日	7月12日	9月20日	10月18日	12月6日	2月21日
相談件数	5 件	3 件	3 件	7 件	4 件

会 場：杏林堂薬局 藤枝駅北店

⑤ 安心すこやかセンター（地域包括支援センター）事業（市委託事業）

（担当地区：青島地区の一部）

いつまでも住み慣れた地域内で安心して暮らせるよう、瀬戸新屋の在宅福祉センター内に安心すこやかセンターを設置し、地域における高齢者の総合的な相談窓口として、地域で生活する高齢者を、介護、福祉、医療などの面から総合的に支援しました。また、地域の介護支援専門員への指導・助言のほか、さまざまな関係機関との連絡調整（ネットワークづくり）に努めました。

ア 総合相談事業

介護に関する相談や悩み以外にも、健康や福祉、医療、生活に関すること等高齢者における総合的な相談に対応し、適切なサービスや機関、制度の利用に繋げました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
相談件数	35	41	49	42	46	43	43	37	41	83	100	101	661 件	658 件
実態把握件数	0	3	3	0	1	1	3	0	4	2	3	5	25 件	9 件

イ 介護予防ケアマネジメント事業

介護予防のため、介護保険要支援 1・2、事業対象者と判定された利用者を対象に、利用者の主体性を重んじた介護予防サービス計画を作成に努めました。また、介護保険の請求事務として給付管理業務も行いました。地域支援事業として、アクティブシニア大学の希望者に申請の手続きや相談対応も行いました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
計画作成件数	210	211	216	224	223	225	221	229	219	216	216	215	2,625 件	2,376 件

ウ その他の委託事業

よりよい地域の連携体制をつくるため、「地域包括支援ネットワーク構築会議」を開催するとともに、介護状態にならないための「介護予防普及啓発事業」を実施しました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
地域ネットワーク会議	1	0	1	1	0	0	1	1	0	1	2	1	9回	10回
介護予防普及啓発事業	1	0	2	2	0	0	1	0	0	0	0	0	6回	6回
介護予防把握訪問	3	0	0	0	2	5	0	4	7	2	3	1	27回	28回
家族介護相談事業	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2回	2回
地域ケア会議	0	1	1	0	1	1	0	0	1	0	1	1	7回	6回

エ 自立支援型地域ケア会議の開催

地域の多様な専門職の助言を踏まえ、高齢者の生活課題の解決や自立支援のためのサポートを検討するとともに、介護支援専門員の自立支援に資するケアマネジメントの向上と、地域に共通した課題を明確化することを目的に、会議を開催しました。

開催日：令和7年5月22日、6月26日、7月24日、8月27日、9月25日、
10月16日、11月20日、12月18日

会 場：青島北地区交流センター

⑥ 委託相談支援事業（市委託事業）

障害者の福祉の増進を図るため、藤枝市基幹相談支援センター内で、障害福祉課、他法人の相談員とともに障害者やその家族の相談に応じ、必要な情報提供を行いました。併せて障害者の地域定着を推進するため、関係機関との調整や権利擁護のために必要な支援を行いました。

相談対象者の障害種別(実人数)				相談件数	前年度
身体障害児者	知的障害児者	精神障害児者	その他		
17人	52人	130人	19人	954件	526件

⑦ ボランティアセンター事業

ア ボランティア相談

「藤枝市ボランティアセンター」は、ボランティアや企業、個人の社会貢献活動を促進する拠点として、ボランティアに関する相談や各種助成金等の情報提供を行いました。

ボランティア相談合計	内訳	括弧内前年度
102件 (85件)	ボランティア依頼	27件(14件)
	ボランティア希望	16件(4件)
	その他問合せ	59件(67件)

イ 65 歳以上の人へのボランティア活動促進

市介護福祉課が月 1 回開催している「65 歳到達者説明会」にて、「ボランティアしませんか！週 1 日は地域貢献デイ」のチラシを配付し、ボランティア活動促進を行いました。

配付枚数：1,730 枚（前年度 1,770 枚）

⑧ 成年後見支援センター事業【再掲】

(2) 生活支援コーディネーターによる地域づくりの推進

① 生活支援体制整備事業（市委託事業）

ア 生活支援体制整備事業第 2 層協議体

住民がいつまでも住み慣れた地域で自分らしく生活できるよう、市内日常生活圏域（地区社協）ごとに生活支援コーディネーターを配置し、支え合いの地域づくり会議や新しい事業の実施に向けた調整や打合せ、住民主体の生活支援サービス事業の実施などについて助言や情報提供等の支援を行いました。また、住民の声に素早く対応するため、随時相談対応を行いました。

《第 2 層協議体 支え合いの地域づくり会議実施状況》

地区社協	開催日
瀬戸谷	2 月 10 日
稲 葉	4 月 27 日、5 月 14 日
葉 梨	6 月 10 日、6 月 12 日、7 月 10 日、8 月 14 日、9 月 11 日、10 月 9 日、11 月 6 日、12 月 11 日、令和 8 年 1 月 22 日、3 月 12 日
藤 枝	6 月 13 日、7 月 15 日
高 洲	5 月 30 日、7 月 29 日、10 月 15 日、11 月 18 日、12 月 18 日
大 洲	6 月 27 日 令和 8 年 1 月 29 日
岡 部	9 月 27 日

《生活支援サービス実施地区》

実施地区	団体数	前年度比	団体名	対象地域
広 幡	1	0	広幡お助け隊	広幡地区全域
藤 枝	2	0	まめっ隊	藤枝第 1 自治会
		0	とんからり♪	藤枝第 10 自治会
青 島	2	－1	駿河台支えあいの会ぼちぼち	青島第 5 自治会
			青島第 8 助けあいの会はちすけ	青島第 8 自治会
高 洲	1	0	高洲手んだい隊	高洲地区全域
大 洲	1	0	大洲自立支援部	大洲地区全域
全 域	1	0	生活サポートサービスキー坊大縁隊	市全域

② 生活支援事業実施団体連絡会開催の実施

市内で活動している生活支援団体に声掛けを行い、日頃の活動の様子や課題などを共有しました。併せて活動に興味がある方にも出席を促し、活動立ち上げの後押しとなるよう情報提供を行うことを目的とし開催しました。

開催日：令和8年1月30日（金）

会 場：葉梨地区交流センター

参加者：21名

③ 地域支え合い出かけっ CAR サービス事業の支援（市委託事業）

地域内の移動が困難な人の移動を支援するため、地区社協が実施する運転ボランティアによる外出支援サービス「藤枝市地域支え合い出かけっ CAR サービス事業」に関して、使用される車両の確保や自動車保険加入などの支援を行いました。

【事業実施地区】

実施地区	団体名	実施内容
瀬戸谷	瀬戸谷買援隊	買い物支援、通院支援
葉梨	葉梨ささえ愛隊	買い物支援、通院支援、ふれあい会食会会員の送迎支援
西益津	お出かけ支援隊	買い物支援、通院支援
藤枝	藤枝ふれあい出かけっ CAR	買い物支援
高洲	高洲足すとし隊	買い物支援
大洲	ノアの運ぶネ	買い物支援、ふれあいサロン会員の送迎支援

④ ふれあいサロン【再掲】

⑤ ふれあい会食会【再掲】

(3) 地域で支える仕組みづくりの推進

① コミュニティソーシャルワーカーの配置【再掲】

◆◆◆成果◆◆◆

地域の困りごとを早期に把握し、必要な支援につなぐ体制が整えられたことで、住民の身近な相談役としての役割がより確かなものになりました。複雑な課題を抱える方への丁寧な伴走支援や、関係機関との連携が少しずつ進んだことで、地域全体で支え合う仕組みづくりに寄与することができました。

◆◆◆課題◆◆◆

体制整備が進む一方で、地域の状況や住民ニーズの変化に応じた情報共有の仕組みづくりには、引き続き工夫が求められています。また、関係機関との連携をより円滑に進めるための調整や、支援を担う人材の確保・育成も今後の課題として残っています。

2 きめ細かな福祉サービスの提供と利用しやすい環境づくり

(1) 多様なサービスの提供

① 介護保険事業

ア 居宅介護支援事業

介護支援専門員（ケアマネジャー）が、利用者と各サービス事業所との連絡調整を図って、利用者の主体性を重んじた居宅サービス計画の作成に努めました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
計画作成 件数	122	121	123	124	127	131	119	116	131	134	132	139	1,532件	1,434件
計画作成 外部受託件数	57	56	56	58	57	58	56	62	56	56	57	59	688件	625件

イ 訪問介護事業

身体介護では入浴や清拭を、生活援助では掃除・調理・買い物代行等のサービスを提供しています。サービス提供時の記録や連絡事項等ではタブレット及びタブレット用介護ソフトの活用により事務の効率化、ヘルパーの働き方改革を進めました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
利用者数	20	20	21	23	24	23	25	25	28	26	26	27	288人	262人
訪問回数	152	153	159	194	174	189	206	215	236	238	252	248	2,416件	2,197件
提供時間	142	143	151	175	157	168	180	167	190	197	208	209	2,087時間	1,935時間

ウ その他

(7) 介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業訪問介護）

要支援1・要支援2に認定された方を対象に 本人が自分で行うことが困難な入浴、排せつ、食事等の介護や 調理、洗濯、掃除等の家事を提供しました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
利用者数	8	8	8	7	7	7	6	6	5	5	5	6	78人	99人
訪問回数	36	40	35	37	35	35	34	32	25	24	25	32	390件	461件
提供時間	32	37	33	34	33	33	33	31	24	23	24	31	368時間	401時間

(4) 介護保険対象外生活支援サービス事業

社協の介護保険サービス利用者を対象に、ごみ出しや通院介助などの介護保険制度対象外のサービスを提供しました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
利用者数	4	4	4	7	2	5	3	5	4	6	4	4	52人	33人
訪問回数	13	10	10	19	6	8	4	5	6	16	8	10	115件	65件
提供時間	15	19	21	35	13	13	5	9	9	22	10	8	179時間	104時間

② 障害福祉サービス事業

支給決定を受けた障害者（児）に対し、心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるようサービス等利用計画に基づいて、サービスを提供しました。

ア 居宅介護

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
利用者数	35	36	35	34	33	35	31	32	33	32	32	32	400 人	421 人
訪問回数	345	336	333	349	348	352	377	318	351	333	304	317	4,063 件	4,401 件
提供時間	276	269	256	268	251	264	281	249	262	251	231	229	3,087時間	3,110時間

イ 重度訪問介護

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
利用者数	2	1	1	0	1	1	1	1	0	0	0	0	8 人	18 人
訪問回数	18	1	1	0	1	1	1	1	0	0	0	0	24 件	823 件
提供時間	65	2	3	0	1	2	1	1	0	0	0	0	75時間	2,903時間

ウ 同行援護

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
利用者数	11	10	10	10	7	7	9	10	9	8	11	12	114 人	149 人
訪問回数	46	52	46	43	39	36	41	32	38	35	42	45	495 件	534 件
提供時間	95	108	86	77	74	82	91	70	76	77	84	84	1,004時間	1,340時間

エ 相談支援事業

(7) 計画相談支援（特定相談支援事業所）

相談支援専門員が、利用者と各サービス事業所との連絡調整を図って、利用者の主体性を重んじた計画の作成、利用状況の検証および計画の見直し（モニタリング）を行いました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
件数	112	95	109	104	99	107	99	95	102	107	106	107	1,242 件	1,203 件

(イ) 地域移行、定着支援（一般相談支援事業所）

入所施設や精神科病院等からの退所・退院にあたって支援を要する者に対し、入所施設や精神科病院等における地域移行の取組と連携しつつ、地域移行に向けた支援を行いました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
件数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	23 件	8 件

(ウ) 障害児支援利用計画（障害児相談支援事業所）

相談支援専門員が障害児の保護者と各サービス事業所との連絡調整を図って、障害児の状況や保護者の意向を勘案し、計画案、計画、利用状況の検証および計画の見直し（モニタリング）を行いました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
件数	57	78	76	62	39	48	51	53	58	59	43	76	700 件	661 件

オ 移動支援事業（市委託事業）

屋外での移動に困難がある障害者（児）に対し地域での自立生活及び社会参加を促すため、移動支援サービスを提供しました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
利用者数	18	16	15	15	11	14	20	15	17	16	19	16	192 人	163 人
訪問回数	46	57	42	34	25	47	65	42	40	40	40	41	519 件	429 件
提供時間	50	62	47	37	25	44	73	46	54	39	45	43	565時間	468時間

カ 日中一時支援事業

(ア) ライフサポート事業（自宅等での支援）（市委託事業）

障害者総合支援法を補完する事業として、障害児の地域生活を支え、家族の介護負担軽減のため、自宅での介護を提供しました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
利用者数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1 人	3 人
訪問回数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1 件	3 件
提供時間	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1 時間	6 時間

③ 放課後等デイサービス「社協ルピナス」の運営 **重点**

就学している障害児に対して、放課後や夏休み等の学校休業日において、生活能力向上のための訓練等を継続的に提供しました。また、療育活動として、作業療法、絵手紙、音楽、体操や絵付け教室などを取り入れ障害児の自立を促進しました。また、医療的ケア児の受け入れについて現状確認の調査を行いました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
開所日	22	21	21	23	21	21	23	19	20	20	19	22	252 日	243 日
内1日開所日数	6	2	0	3	21	6	1	2	4	4	5	9	63 日	47 日
利用者数	190	197	211	217	213	208	208	171	195	196	161	214	2,381 人	2,176 人
1日平均	8.6	9.3	10	9.4	10.1	9.9	9.0	9.0	9.75	9.8	8.4	9.7	9.4 人	8.9 人

④ 生活介護事業所「ポップライフ」の運営

重症心身障害者に障害福祉サービス等を提供する通所施設として、入浴・食事・送迎の提供さらに機能訓練や創作・音楽活動等個々にあったサービスの提供を行いました。また、地域生活支援事業（日中一時支援）として本施設での時間外預かりにより日中活動の場を提供し、見守り及び社会に適応するための日常的な訓練を行いました。

ア 障害福祉サービス

常に介護や医療ケアの必要な人に施設で入浴や排泄、食事の介護や療育活動（創作、外出）等を提供しています。入院・施設入所した方が多かったため、利用者数としては前年度に比べ減少しています。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
開所日	24	23	23	24	23	23	24	20	23	21	20	23	271 日	269 日
利用者数	399	418	394	418	408	394	445	350	410	361	347	399	4,743 人	4,902 人
1 日平均	16.6	18.1	17.1	17.4	17.7	17.1	18.5	17.5	17.8	17.7	17.3	17.3	17.5 人	18.2 人

イ 地域生活支援事業（藤枝市・焼津市・吉田町委託事業）

障害者を一時的に時間外で預かり、見守り等を行い安心できる場を提供しています。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
開所日	5	3	6	5	3	6	10	5	3	7	4	4	61 日	82 日
利用者数	3	1	3	4	2	2	4	5	3	4	3	2	36 人	50 人

ウ ライフサポート事業（短期入所）（藤枝市委託事業） ※1 回：1 泊 2 日で実施

障害者総合支援法の短期入所指定事業所以外の施設でのナイトケアの提供をします。なお、上半期は実施していないため、利用者はいませんでした。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
開所回数	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1 回	1 回
利用者数	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	5 人	2 人

(2) 福祉サービスの利用支援

① 日常生活自立支援事業【再掲】

(3) 支援体制の周知

① 広報・啓発事業【再掲】

(4) 生活困窮者の自立支援

① 各種資金貸付事業

低所得世帯や障害者世帯等の経済的自立と生活意欲の助長促進のため、緊急かつ一時的費用として生活費、教育費、医療費等の資金貸付を行いました。

種 別	申請件数（件） （前年度）	貸付金額(円) （前年度）
小口資金貸付 （生活費など 貸付限度額 10 万円 無利子）	0 (0)	0 (0)
高額医療費貸付 （無利子）	6 (18)	1, 268, 664 (3, 180, 734)
生活福祉資金 （静岡県社協資金取次）	8 (9)	4, 470, 000 (2, 643, 000)

② ふじえだ暮らしをつなぐ支援事業

生活困窮者等が地域で自立した生活を送ることができるよう、多機関と連携しながら暮らしの環境を整えるための支援を行いました。また、今年度は事業の見直しを行い「自転車及びカセットコンロ支援事業」を廃止し、本事業に統合し支援を行っています。

	今年度		前年度	
件数	6		2	
金額	178, 340 円		17, 040 円	
内訳	転居費用	100, 000 円	自転車及びカセット コンロ支援事業	実績なし
	ライフライン支援	30, 000 円	医療費支援	17, 040 円
	医療費支援	30, 000 円		
	就労準備・就労支援	18, 340 円		

※ 就労準備・就職支援のうち、2件 12, 340 円が「自転車及びカセットコンロ支援事業」相当分

③ 年越し支援金事業

9月5日号の「ふじえだ社協だより No.239」で助成金申請手続きの周知を行うとともに、各地区民生委員・児童委員の協力を得て、歳末たすけあい募金から、非課税世帯かつ生活が困窮しているために支援を必要としている世帯に対して、【区分 A】の支援金を助成しました。また、昨年に引き続き、収入が減少した等の理由により「非課税世帯」という条件に当てはまらない生活困窮者の支援につなげるため、【区分 B】の申請枠を設けました。

	【区分 A】			【区分 B】		
	対象世帯	新入学祝い	助成合計額	対象世帯	新入学祝い	助成合計額
計	543 世帯／701 人	5 人	4, 142, 000 円	57 世帯／111 人	3 人	522, 000 円
前年度	569 世帯／711 人	6 人	4, 297, 000 円	38 世帯／87 人	2 人	384, 000 円

④ その他

ア フードドライブ事業への協力

食品を必要とする人々の支援とフードロス削減のため、NPO法人フードバンクふじのくにが実施するフードドライブに協力し、家庭に眠っている食品の回収を行いました。

なお、回収された食品は、NPO法人フードバンクふじのくにの協力を得て生活に困窮し食の確保が困難な世帯の支援に使用されました。

＜夏期＞ 実 施 期 間：令和7年8月1日～8月31日

回収ボックス設置：17カ所

(福祉センターきすみれ、在宅福祉センター、各地区交流センター、文化センター、生涯学習センター、市役所)

回 収 量：196.3kg (前年度 253.7 kg)

＜冬期＞ 実 施 期 間：令和7年12月19日～令和8年1月31日

回収ボックス設置：17カ所

(福祉センターきすみれ、在宅福祉センター、各地区交流センター、文化センター、生涯学習センター、市役所)

回 収 量：201.2kg (前年度 278.5 kg)

＜常設＞ 実 施 期 間：令和7年4月1日～令和8年3月31日

回収ボックス設置：1カ所 (福祉センターきすみれ内)

回 収 量：25.3kg (前年度 262.6kg)

緊急食糧支援 222件(前年度 213件) ※市自立サポートセンターにて対応

◆◆◆成果◆◆◆

小口資金や生活福祉資金、医療費・転居費用等の支援を通じて、急な収入減や予期せぬ出費に直面した世帯の生活悪化を防ぐことができました。医療費支援や転居支援により、受診控えや不安定な住環境からの脱却につながった事例も見られました。また、自立相談支援機関や地域の関係機関と連携することで、一時的な資金給付にとどまらず、就労支援や見守りなど継続的な支援へとつなげることができました。

◆◆◆課題◆◆◆

制度そのものの分かりにくさがあり、貸付の目的や種類、他制度との違いが住民に十分理解されていないため、相談につながるまでに時間を要するケースが見られました。また、相談に至った世帯の多くは複合的な生活課題を抱えており、一度の貸付で状況が改善しないまま、再び家計が不安定になる事例もあったほか、返済や今後の暮らし方への不安から、貸付利用に踏み切れない住民も一定数おり、相談しやすい環境づくりと継続的な見守り体制の工夫を行う必要があります。

3 地域生活・社会へ参加しやすいまちづくり

(1) 外出が困難な人の社会参加の支援

① 福祉車両貸出事業

下肢に障害があり歩行が困難な人の社会参加促進を図るため、社協が所有する福祉車両を貸出しました。また、運転する人がいない場合には、社協に登録する運転ボランティアの派遣調整を行いました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
貸出件数	21	9	12	9	11	15	14	10	9	14	7	7	138 件	188 件
内) 運転ボランティア調整	6	3	2	4	2	3	3	3	2	4	0	3	35 件	54 件

※車両台数：2台（走行距離に応じ燃料は各自負担）

② 車イス貸出事業

急な病気やケガなどにより買い物などの外出に一時的に車いすを必要とする市内在住の方に、原則3ヶ月を限度として貸出を行いました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
在宅福祉センター	8	6	8	9	8	8	14	4	6	4	8	7	90 件	125 件
福祉センターきすみれ	8	7	7	5	6	11	8	4	5	1	6	5	73 件	89 件

◆◆◆成果◆◆◆

車いすの長期利用を希望している場合は、介護保険サービスのご案内をしています。制度のご案内をすることで車いす以外のサービス利用にもつながり、より生活のしやすさへ貢献できていると感じています。

また、無料で借りられる福祉車両貸出は、他事業所からの情報提供により、利用したいという問合せが増え、新規の利用者が増加しています。

◆◆◆課題◆◆◆

車いすの貸出しや福祉車両の貸出しの問合せが、利用者ではなく他事業所のケアマネジャーからの問合せが増えています。上半期の課題と同様に無条件で借用できると認識されているため、近隣事業所への貸出しに関する要綱の周知が課題となっています。

基本目標 4 地域の社会資源を育む仕組みづくり

地域福祉に参画する多様な主体を育成し、活躍できる仕組みを構築することは、地域における地域福祉活動を活性化させ、互いに支え合うまちづくりにつながります。地域福祉を担う人材やボランティア等の組織の育成や支援、新たな担い手を育むための施策を展開していきます。また、地域づくりに多様な主体が参画しやすい環境を整備するとともに、地域における多様な主体が連携し、活躍できる体制を充実させます。更に、近隣市町等と広域的な連携を推進していきます。

1 地域福祉を担う人材・組織を育む体制づくり

(1) ボランティア活動の推進

① 各種ボランティア講座の開催

ア 話し相手ボランティア養成講座（スキルアップ講座）

話し相手ボランティア養成講座の受講生を対象に、今後の活動が円滑に取り組めるよう、活動者同士の情報交換と傾聴スキルの向上を図るための講座を開催しました。

実施日：令和7年10月31日

会場：高洲地区交流センター

内容：話し相手ボランティアについて必要な知識の再確認

活動の中で生じた疑問、困り事への質疑応答

講師：話し相手ボランティア活動支援員 横山 貴美子 氏

参加者：22名

イ 子育て応援プログラム

子育て中の保護者やその家族を対象に参加者同士の話し合い、演習を通して、愛着形成・自己肯定感の大切さや、よりよいコミュニケーションの方法などを学ぶための講座を行いました。

実施日：令和7年7月26日

会場：BiVi キャン

内容：こどもの才能発見講座

講師：認定子育て診断士 高遠 達也 氏

参加者：17名

(2) 福祉を担う人材の育成

① 各種資格の現場実習受入

将来の福祉を担う人材を育成するため、地域に根ざした社会福祉法人として、資格習得に必要な現場実習の受け入れを行いました。

*社会福祉士…令和7年8月12日～9月17日(29日間)／ 静岡英和学院大学 1人
令和7年8月12日～9月12日(26日間)／ 聖隷クリストファー大学 1人
令和8年2月16日～2月26日(8日間)／ 静岡福祉大学 1人

＊看護師…令和7年6月30日、7月1日(2日間)／組合立静岡県中部看護専門学校 1人
令和7年9月25日、9月26日(2日間)／組合立静岡県中部看護専門学校 3人

② 市民後見人育成事業【再掲】

③ 健康福祉大会の開催【再掲】

◆◆◆成果◆◆◆

話し相手ボランティア養成講座では、活動中の方だけでなく活動を休んでいる方にも参加いただき、必要な知識の共有や活動に対する思いを語り合う機会となりました。参加者からは、改めて活動に取り組もうとする前向きな声も聞かれました。また、子育て応援プログラムは子どもの成長を支える視点を学ぶ場として活用されました。父親5人が参加し、家庭全体で子育てに向き合うきっかけづくりにつながりました。

◆◆◆課題◆◆◆

単身高齢者やひとり親家庭など、支援につながりにくい方については、社協としても相談支援や地域活動を通じて情報収集に努めていますが、十分に把握できない場合があります。また、子育て応援プログラムでは、夏休み期間の開催により BiVi 藤枝の駐車場が混雑し、開始時間に間に合わない参加者や欠席者が生じました。今後は、より参加しやすい環境づくりに努めていきます。

2 多様な主体が活躍する環境づくり

(1) ボランティア人材の育成

① ボランティア活動保険

安心してボランティア活動ができるよう、ボランティア活動中の不慮の事故に備え、ボランティア活動保険・ボランティア行事用保険の加入を促進しました。

《ボランティア活動保険》

(括弧内前年度)

加入者数	内、個人負担	内、社協負担
3,047 人 (3,037 人)	1,154 人 (1,110 人)	1,893 人 (1,927 人)

《ボランティア行事用保険》

(括弧内前年度)

加入件数	加入者数
35 件 (42 件)	3,292 人 (4,415 人)

《ボランティア登録数》

(括弧内前年度)

団体活動者		個人活動者	計
165 団体 (169 団体)	4,063 人 (4,189 人)	175 人 (227 人)	4,238 人 (4,416 人)

② ふじえだ生き生き助成金事業

地域福祉活動を促進するため、ボランティア団体や自治会・町内会、障害当事者団体等の団体が行う、地域福祉の推進に資する事業に対して、共同募金助成金により助成しました。また、今年度より、申請団体の負担軽減のため、ヒアリングの実施を取りやめました。

	今年度	前年度
申請団体	16 団体	12 団体
決定団体	16 団体	12 団体
決 定 額	728,000 円	708,000 円

③ ボランティアセンター事業

ア 富士市社会福祉協議会へ視察研修を実施

ボランティアセンターの円滑な運営を目指していることから、先進地である富士市社会福祉協議会ボランティアセンターを視察することで今後の体制を整理していくことを目的に実施しました。

実施日：1月22日（木）

会 場：富士市社会福祉協議会

参加者：4名

イ ボランティア研究集会へ視察研修を実施

令和8年度に本会が担当となることから、次年度の参考にすべく伊東市社会福祉協議会が実施するボランティア研究集会に出席し視察を実施しました。

開催日：令和8年度2月22日（日）

会 場：伊東市生涯学習センター

参加者：7名

(2) ボランティア団体の連携・交流

① ボランティア連絡協議会への支援

藤枝市ボランティア連絡協議会は、会員数の減少などにより活動が縮小傾向にありますが、会員の皆さんができる範囲で活動が続けている状況です。市社協としては、会員から寄せられる相談や声を丁寧に伺いながら、活動が継続できるよう寄り添った支援を行っています。今後も、会員の意向を踏まえつつ、協議会の活動がより進めやすくなるよう、支援の在り方を検討していきます。

② ボランティア交流会

これからボランティアを始めたいと考えている人の活動への一歩を踏み出すきっかけづくりの機会や、すでに活躍中のボランティア団体や個人ボランティアの横のつながりづくり・情報交換の機会、また活動を振り返る機会として開催しました。

開催日：10月26日（日）

会 場：青島北地区交流センター

参加者：40名

③ 福祉団体助成金

地域社会における福祉活動を促進するため、地域の福祉活動に取り組んでいる団体に対し、福祉団体助成金を交付しました。

助成団体：①藤枝市自治会連合会 ②藤枝市民生委員・児童委員協議会

③さわやかクラブふじえだ連合会 ④公益財団法人 静岡県アイバンク

助成額：1,082,000円（前年度上半期 1,082,000円）

④ 高校生ボランティアサークル「ほおずき」への支援

若年層のボランティア活動を促進するため、高校生ボランティアサークル「ほおずき」の定例会への出席、「ほおずき」への加入希望者等への相談対応やボランティア活動に対する関心を高めるための情報提供を行いました。また、「ほおずき」の活動周知・会員募集のため、チラシの配布を藤枝市と近隣市（焼津市、島田市）の高校に送付しました。

ア 定例会への参加

定例会出席回数：14回（4月4日、5月2日、5月30日、6月20日、7月11日、
8月8日、8月20日、9月19日、10月24日、11月26日、
12月26日、令和8年1月9日、2月6日、3月6日）

交流先打合せ：1回（9月2日）

3月末会員：8人（第一学院高等学院：8人、藤枝順心高校：1人）

※ 前年度末 8人

チラシ配布数：252枚

イ 交流会

【第1回】ほおずきの高校生ボランティアが企画し、レクリエーションを通して、藤枝市適応指導教室「藤の子教室」で生徒と交流会を実施

実施日：令和7年9月2日

会 場：藤枝市適応指導教室「藤の子教室」

内 容：曲当てゲーム、略語もどしゲーム、ペーパークロマトグラフィ

参加者：13名（生徒：6名、ほおずき：7名）

【第2回】まるっとカフェとコラボ企画として杏林堂薬局 藤枝駅北店にてレクリエーションや交流会を実施

実施日：令和8年2月22日

会 場：杏林堂薬局 藤枝駅北店セミナールーム

内 容：輪投げ、お菓子釣りゲーム、ミニサッカーゲーム、コミュニケーション

参加者：8人（ほおずき：3人）

⑤ 話し相手ボランティアサークル「えがお」への支援

活動の支援や情報提供・情報共有のため、定例会に出席しました。また、利用希望者とのマッチングや初回の顔合わせに同席するなど、活動開始をスムーズに行えるようサポートをしました。

定例会出席回数：12回

（3）地区社協への支援【再掲】

（4）生活支援コーディネーターによる地域づくりの推進【再掲】

◆◆◆成果◆◆◆

ボランティア交流会では、青島北中学校の協力を得て企画から運営まで共に取り組み、中学生が参加者との交流やパラコードの制作・提供、会場設営などに主体的に関わることができ、その姿勢は参加者にも良い影響を与え、世代を超えたつながりが生まれました。また、富士市社協への視察では、相談者の想いや「きっかけ」を丁寧に聞き取る姿勢や、平時から多様な団体がつながり“ちょっと無理が言える関係”を築くネットワークづくり、キントーン等を活用した効率的な情報管理など多くの学びを得ることができました。これらの視察内容を踏まえ、次年度は地域のつながりを強化し、参加しやすいボランティア環境づくりをさらに進めていきたいです。

◆◆◆課題◆◆◆

ボランティア交流会について、昨年度から特定の中学校に声掛けをしていますが、次年度の方向性は決まっていません。どのような形で実施するのか検討が必要です。

次年度は話し相手ボランティアの養成講座の実施になりますので、多くの方の参加していただき、ボランティアにつなげることができるよう講座の周知や活動先の紹介などに尽力していきたいです。

3 連携・協働による福祉のまちづくり

（1）地域福祉活動にかかる財源の確保

① 社協会員の加入促進

持続的に地域福祉を推進していくため、社協は、全戸会員制により、住民の皆様を会員とする普通会員と、賛助・施設・団体・特別会員に区分を分けています。区分ごとに会員の加入促進と、福祉活動資金の確保に努めました。

区 分	人 員	口 数	金 額(円)	備 考(円)
普通会員	42,594 戸	42,594 口	17,037,380 円	1 戸年額 400 円
賛助会員(個人)	553 人	644 口	644,000 円	1 口 1,000 円
施設会員(施設)	31 施設	32 口	160,000 円	1 口 5,000 円
団体会員(団体)	16 団体	41 口	123,000 円	1 口 3,000 円
特別会員(企業等)	29 件	40 口	120,000 円	1 口 3,000 円
計 *口数と金額に一部差異があります			18,084,380 円	(前年度) 18,247,400 円

② 財政基盤の強化

ア 善意銀行

社協が行う、地区社協・ボランティア活動の支援等、社会福祉事業の推進に対して寄せられた金品を公正に活用しています。

	寄附金		物 品	
	件数	金 額	件数	内 容
今年度	39 件	6,766,124 円	230 件	ブルタブ・使用済切手・ペットボトルキャップ 等 ペットボトルキャップ換金：2,670 円 ブルタブ換金：6,915 円、ギフトカード：18,200 円、おもちゃ：73,810 円、車椅子 40,000 円、ボールプールトランポリン：207,460 円 計 349,055 円
前年度	50 件	643,917 円	188 件	

③ 厚生文化基金とこども基金

	ポップライフ指定寄附 (ポップライフ厚生文化基金)		こども基金指定寄附 (こども基金)		計
	件数	金 額	件数	金 額	
今年度	11 件	665,322 円	2 件	74,515 円	739,837 円
前年度	16 件	986,595 円	1 件	14,491 円	1,001,086 円

◆◆◆成果◆◆◆

住民のみなさまからの普通会費について、人口が減少する中でも前年額を大きく下回ることなく納入いただくことができました。

◆◆◆課題◆◆◆

いただいた寄附を有効に活用できるよう、寄附金を財源とした事業を検討していきます。また、遺贈寄附についての問い合わせをいただくようになりましたので、専門職の協力を得る等して、問い合わせに対応できる体制を整えていく必要があります。

その他の福祉活動

各種福祉施設を管理運営し、住民にとって使いやすい施設となるようサービスの向上に努めています。

(1) 老人福祉センター藤美園の運営

高齢者の生きがいと健康づくりのため、市から指定管理を受け、高齢者福祉の拠点施設である老人福祉センター藤美園の運営を行い、地域に根付き、健康増進や教養の向上及びレクリエーションなど総合的な福祉の推進に努めました。また、老人クラブ会員等援助に関する事業にも積極的に取り組みました。

	開館 日数	団体利用		個人 利用	講座		利用者 合計
		団体数	人数		回数	参加人数	
4月	25	87	777	1,227	16	142	2,146
5月	23	86	813	1,010	16	136	1,959
6月	25	86	815	1,100	16	130	2,045
7月	26	90	805	1,114	18	158	2,077
8月	26	73	618	813	13	114	1,545
9月	23	77	846	890	18	151	1,887
10月	26	73	746	1,076	18	164	1,986
11月	23	75	655	1,050	18	152	1,857
12月	24	68	626	882	12	81	1,589
1月	23	74	900	1,215	14	115	2,230
2月	22	81	831	1,236	15	128	2,195
3月	25	65	628	1,318	15	131	2,077
計	291日	935団体	9,060人	12,931人	189回	1,602人	23,593人
月平均	24日	78団体	755人	1,078人	16回	134人	1,966人
前年度合計	287日	952団体	9,428人	12,313人	189回	1,615人	23,356人

◆◆◆成果◆◆◆

利用者数は昨年度と比べて、200人ほど増加しました。団体利用数、講座参加者が若干減少したが、個人利用者数が増えたことによるものです。また、団体利用では小部屋利用の新たな少人数のグループの利用が増えています。

◆◆◆課題◆◆◆

自主事業（教室）と講座（趣味の会）の継続及び新規の加入を促進するため、「広報ふじえだ」、「社協だより」や「市老連だより」での募集を行っていきます。

(2) 生きがい対応型デイサービスセンター「藤の里」・「きすみれの里」の運営

介護保険に該当しない高齢者を対象に、高齢者の自立生活の助長、社会的孤独感の解消、心身機能の維持向上を図ることを目的として健康体操やレクリエーション活動等のサービスを提供する生きがい対応型デイサービスセンター「藤の里」と「きすみれの里」の運営を行いました。また、介護予防・日常生活支援総合事業を受託し、事業対象者の受け入れを行いました。

① 藤の里（担当地区：瀬戸谷・稲葉・葉梨・広幡・西益津・藤枝・青島の一部）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
開所日	21	20	21	22	20	20	22	18	20	19	18	21	242 日	243 日
利用者数	319	305	316	334	260	283	332	252	297	269	267	317	3,551 人	3,446 人
総合事業	8	6	8	10	6	7	8	6	8	6	7	8	88 人	134 人
1日平均	15.6	15.6	15.5	15.6	13.5	14.6	15.5	14.4	15.4	14.7	15.5	15.6	15.2 人	14.8 人
体験者	1	0	2	0	4	1	2	2	2	4	5	2	25 人	18 人

② きすみれの里（担当地区：葉梨・広幡・西益津・岡部）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
開所日	21	20	21	22	20	20	22	18	20	19	18	21	242 日	243 日
利用者数	215	198	215	221	194	206	232	193	216	195	172	195	2,452 人	2,675 人
総合事業	18	20	21	28	18	21	27	20	23	31	28	34	289 人	273 人
1日平均	11	10.9	11.2	11.3	10.6	11.3	11.7	11.8	11.9	11.8	11.1	10.9	11.3 人	12.1 人
体験者	5	1	0	4	※	4	1	1	0	1	0	1	18 人	9 人

◆◆◆成果◆◆◆

生きがいデイサービスを利用することにより、交流だけでなくいきいきとした活動を通じて心身の健康増進と生活への張り合いを生み、家に閉じこもりがちな方や外に出る機会の少ない方などにも成果をあげています。

また、施設オリジナルのメニューの考案や毎月の野外活動などを行い、満足度の向上を達成できました。

◆◆◆課題◆◆◆

「藤の里」「きすみれの里」の更なる利用者拡大が課題となっているため、より一層の魅力ある内容展開に努める必要があります。

(3) 藤枝市福祉センター「きすみれ」の運営

市からの指定管理を受け、センターの貸館及び管理・運営と併せて住民の活動拠点となるよう施設の周知に向けた積極的なPRと自主事業の開催に努めました。

	開館日数 (日)	健康運動室 利用者	貸館利用者	福祉団体室 ボランティア室	利用者 合計
4月	26	270	556	67	894
5月	27	334	612	106	1,052
6月	25	351	655	97	1,103
7月	27	371	976	138	1,485
8月	27	383	205	123	711
9月	25	336	419	83	838
10月	27	0	851	40	891
11月	26	0	710	114	824
12月	23	278	665	72	1,015
1月	23	270	819	77	1,166
2月	24	304	415	67	786
3月	26	293	758	116	1,167
計	306日	3,190人	7,641人	1,100人	11,931人
前年度合計	305日	3,247人	8,041人	1,126人	12,414人

《自主事業》

講座名	実施日(回数)	参加延人数
スローストレッチ・ヨガ(午前・午後の部)	4月11日～3月13日 25回	578人
楽しく！健康リンパ体操	4月9日～3月4日 12回	124人
ふるさとみかん山収穫体験	12月7日	304人
足のお悩み解決！～フットエクササイズ&相談会～	1月22日	7人
計	39回	1,013人
前年度	37回	890人

◆◆◆成果◆◆◆

空調機器工事の影響により、2ヶ月にわたり健康運動室を実施できない期間が生じましたが、市社協ホームページや公式LINE等への掲載により、月あたりの利用者数は前年度より若干増加しています。また、「高草の間」についてもパーティションを使用した部屋の分割利用を検討したことにより、令和8年度から用途に応じた、より柔軟な利用が可能となりました。

◆◆◆課題◆◆◆

自主事業参加者が減少しており、受講生募集や講座数の増加、魅力のある企画の立案が課題です。また、貸館の利用促進のため、施設の周知も課題となっています

(4) 放課後児童クラブの運営

仕事と子育ての両立支援のため、市から市内 17 小学校にある全 29 の児童クラブの運営委託を受け、保護者が労働等により昼間家庭にいない 1 年生から 6 年生の児童を放課後等に預かり、遊びや生活の場を提供しました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
開所日	22	21	22	23	21	21	23	19	21	20	19	22	254 日	260 日
実利用者数	1,393	1,338	1,331	1,344	1,409	1,304	1,283	1,261	1,265	1,248	1,224	1,269	15,669 人	15,749 人

※実利用者数は、毎月 1 日現在の数字

① 県が主催する研修会への参加

発達障害児に関する知識の習得や対応スキル向上のため、静岡県主催の放課後児童支援員等資質向上研修（実地研修や聴講研修）に参加し、保育の質の向上に努めました。

《放課後児童支援員等資質向上研修（実地研修）》

主催者：静岡県健康福祉部こども若者局こども未来課

実施日：① 9 月 29 日、10 月 6 日

② 10 月 7 日、10 月 14 日

会 場：① せとやっ子児童クラブ

② なかよし児童クラブ

内 容：県から派遣されたアドバイザーの助言による発達障害児の知識の習得にあわせ、円滑な対応が図れるよう事例を通してのスキルの向上を目的とした研修の実施

参加者：① 6 人、② 10 人（各日程ともクラブ指導員、巡回指導員の参加）

《放課後児童支援員等資質向上研修（聴講研修）》

主催者：静岡県健康福祉部こども若者局こども未来課

実施日：令和 7 年 10 月 6 日

会 場：静岡県コンベンションアーツセンター（グランシップ）

内 容：「子どもの発達段階を見通した架け橋期の教育（静岡大学 田宮 縁（タヤユリ）氏）」と題する、児童クラブにおける従来の保育の視点とは違う、幼児教育や小学校での学習を軸に据えたなかでの児童クラブの在り方・考え方について、数多くの現場巡回による経験を踏まえた講演を聴講した

参加者：19 人（指導員、巡回指導員）

《放課後児童支援員認定資格研修》

主催者：静岡県健康福祉部こども若者局こども未来課

実施日：令和 7 年 9 月 17 日、9 月 24 日、10 月 9 日、10 月 21 日

会 場：もくせい会館富士ホール

内 容：放課後児童支援員として県内の放課後児童健全育成事業に現在従事している者を対象に、放課後児童支援員として必要な知識・技能を習得するとともに、

それを実践する際の基本的な考え方や心得を認識したうえで有資格者となることを目的とした研修の実施

参加者：18人（主任・補助指導員）

② 市が主催する研修への参加

発達障害がある児童や愛着の問題を抱えるこどもの理解や支援方法を習得し実践に結び付けられるよう、市が主催する研修へ参加し、保育の質の向上に努めました。

《発達支援実践セミナー》

主 催：藤枝市こども発達支援センター

実施日：令和7年6月3日、7月1日、9月9日、10月14日、令和8年1月20日、
2月17日のうち第4・6回（うち第4回はzoom配信）を受講

会 場：生涯学習センター

内 容：子どもの発達課題に対し、早期発見・早期支援を進めるための支援者の知識・技術の習得を目指すための研修

講 師：NP0 法人アサーティブジャパン認定講師 矢澤 久美子 氏
藤枝特別支援学校教員

参加者：5人（主任指導員）

③ 市社協主催による研修会の実施

市社協内で放課後児童クラブ指導員に向けて研修を行い、職員のスキルアップや労働環境の適正化に努めました。

《救急法及びAED研修会》

実施日：①令和7年6月18日、②7月1日、③7月8日、④7月15日、⑤7月16日

会 場：①③すこやか第2児童クラブ、②みなみっこ第1児童クラブ、
④まつばっこ第1児童クラブ、⑤ひがしっこ第2児童クラブ

内 容：心肺蘇生法の実技指導、誤飲による窒息の応急処置

講 師：志太消防本部 救急救命士

参加者：延べ104人（主任指導員、補助指導員、巡回指導員）

協 力：志太広域事務組合志太消防本部

《熱中症対策研修会》

実施日：令和7年6月11日

会 場：福祉センターきすみれ会議室

内 容：「正しい熱中症対策について」と題し、小学生（特に低学年）における正しい熱中症対策、効果的な水分補給の方法や、糖分や塩分の過剰摂取にならない工夫などを学んだ

講 師：栄養士 森 佑紀 氏（藤枝市健康推進課 健康支援係）

参加者：延べ40人（主任指導員、補助指導員、巡回指導員、事務員、社協ルピナス職員、生活介護事業所ポップライフ職員）

協 力：藤枝市健康推進課（市出前講座の活用）

《発達障害研修会》

実施日：令和7年9月11日

会 場：葉梨地区交流センター

内 容：発達障害や発達で気になる入会児童への対応に向けて、発達障害児の基礎知識の習得と支援（実践）へのアドバイスを学ぶ

講 師：静岡県中西部発達障害者支援センターCOCO 統括管理責任者 弓削 香織 氏

参加者：延べ98人（主任指導員、補助指導員、巡回指導員、事務局、市職員）

協 力：藤枝市こども課

《労務管理研修》

実施日：令和7年5月14日

会 場：福祉センターきすみれ

内 容：放課後児童クラブ指導員の労働条件に関する説明

講 師：本会 事務局長 齊藤 宏和

参加者：延べ31人（主任指導員）

◆◆◆成果◆◆◆

市社協主催の外部講師を招いた研修により、特に発達に課題のある児童の基礎知識の取得や現場での対応方法について、参加した指導員の見識を深めることができました。人事において、指導員の高齢化への対策として70歳を超えてなお雇用継続を可とする規程の策定により、経験豊かな人材や資格保有者の確保につながるところとなり、クラブ運営において一定の効果を得ることになりました。

◆◆◆課題◆◆◆

指導員の高齢化による人材離れは今後も懸念材料であり、児童クラブの開所要件のひとつである認定資格者の確保と併せ、人材の安定的な確保がクラブ運営における課題です。このため、認定資格保持者の増員や育成、新たな主任指導員の確保や育成が今後必要です。同時に、各児童クラブの運営面における平準化や質の向上のため、各種マニュアルやガイドラインの整備による基準の統一、指導員各個の資質向上に向けた研修や人材確保等の検討を進める必要があります。

法人組織体制の強化

(1) 理事会の開催状況

開催日	審 議 事 項
6 月 9 日 (第 1 回)	第 1 号議案 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会令和 7 年度第 1 次資金収支補正予算について
	第 2 号議案 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会令和 6 年度事業報告の承認について
	第 3 号議案 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会令和 6 年度資金収支決算の承認について
	第 4 号議案 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会定款施行細則の一部を改正する細則について
	第 5 号議案 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会職員給与規程の一部を改正する規程について
	第 6 号議案 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について
	第 7 号議案 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会令和 7 年度第 1 回評議員選定委員会の招集について
	第 8 号議案 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会令和 7 年度第 1 回評議員会の招集について
	第 9 号議案 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会評議員選定委員の選任について
9 月 8 日 (第 2 回)	第 10 号議案 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会就業規程の一部を改正する規程について
	第 11 号議案 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会資金運用規程の一部を改正する規程について
	第 12 号議案 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会公益通報者保護に関する規程の一部を改正する規程について
12 月 5 日 (第 3 回)	第 13 号議案 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会令和 7 年度第 2 次資金収支補正予算について
	第 14 号議案 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会監事候補者の推薦について
	第 15 号議案 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について
	第 16 号議案 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会令和 7 年度第 2 回評議員選定委員会の招集について
	第 17 号議案 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会令和 7 年度第 2 回評議員会の招集について
1 月 23 日 (第 4 回)	第 18 号議案 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会副会長の選定について → 決議省略

3月3日 (第5回)	第19号議案	令和7年度第3次資金収支補正予算について
	第20号議案	令和8年度事業計画について
	第21号議案	令和8年度資金収支当初予算について
	第22号議案	社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会事務局規程の一部を改正する規程について
	第23号議案	社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会印章規程の一部を改正する規程について
	第24号議案	社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会決裁規程の一部を改正する規程について
	第25号議案	社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会庶務規程の一部を改正する規程について
	第26号議案	社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会就業規程の一部を改正する規程について
	第27号議案	社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会職員給与規程の一部を改正する規程について
	第28号議案	社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会役員等の報酬等に関する規程の一部を改正する規程について
	第29号議案	社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会理事会に専属する重要な財産の処分等の基準を定める規程の制定について
	第30号議案	社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会高額療養費貸付規程の一部を改正する規程について
	第31号議案	役員等賠償責任保険契約について
	第32号議案	社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会評議員選定委員の選任について
	第33号議案	令和7年度第3回評議員会の招集について

(2) 評議員会の開催状況

開催日	審 議 事 項	
6月24日 (第1回)	第1号議案	社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会令和7年度第1次資金収支補正予算の承認について
	第2号議案	社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会令和6年度事業報告の承認について
	第3号議案	社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会令和6年度資金収支決算の承認について
	第4号議案	社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会理事の選任について
12月22日 (第2回)	第5号議案	社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会令和7年度第2次資金収支補正予算の承認について
	第6号議案	社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会理事の選任について
	第7号議案	社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会監事の選任について
3月23日 (第3回)	第8号議案	令和7年度第3次資金収支補正予算について
	第9号議案	令和8年度事業計画の承認について
	第10号議案	令和8年度資金収支当初予算について
	第11号議案	社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会役員等の報酬等に関する規程の一部を改正する規程について

(3) 事業・会計監査

令和7年 6月 2日 令和6年度社協事業及び会計決算監査

(4) 法人改善計画

① 公認会計士による定期的なアドバイス

公認会計士と顧問契約を結び法人の経理について助言を受けています。日々の経理業務における疑問点や執行に関するアドバイス等を受けるとともに、2か月に1回程度、経理状況の確認を受けています。

(5) 地域福祉活動計画推進懇話会

第5次地域福祉活動計画の進捗管理及び第6次地域福祉活動計画の策定のため、地域福祉活動計画推進懇話会を市の地域福祉計画推進懇話会とあわせて開催しました。

【第1回】

開催日：令和7年7月4日

会 場：藤枝市役所 西館5階大会議室

内 容：令和6年度第5次藤枝市地域福祉計画及び地域福祉活動計画の事業報告について（市・社協）

第6次藤枝市地域福祉計画及び地域福祉活動計画の素案について（市）

【第2回】

開催日：令和7年10月10日

会 場：藤枝市役所 西館5階第3・4委員会室

内 容：第6次藤枝市地域福祉計画及び地域福祉活動計画の素案について（市）

【第3回】※ 書面開催

開催日：令和8年3月

内 容：第6次藤枝市地域福祉計画・地域福祉活動計画の完成報告について（市）

(6) 中期経営計画の策定

市社協の持続可能な組織運営を行うため、令和6年度と令和7年度の2年を策定期間とし、「地域福祉を推進する中核的な団体」としての使命や経営理念、基本方針を明確にし、その実現に向けた取り組みを示した中期経営計画（令和8年4月から令和13年3月まで）の策定を第6次地域福祉活動計画の策定と並行して、職員で構成する委員会により行いました。

① 中期経営計画策定委員会の開催状況

【第1回】

開催日：令和7年5月22日

内 容：第6次地域福祉計画・地域福祉活動計画の施策体系の確認、主な事業の説明と洗い出し、成果指標の選定、地域カルテ作成（松山市事例）

【第2回】

開催日：令和7年6月20日

内 容：各課（施設）の現状と課題、事業（克服策等）第6次地域福祉計画・地域福祉活動計画の骨子（案）について

【第3回】

開催日：令和7年8月28日

内 容：各課（施設）の現状と課題、事業（克服策等）

SWOT分析シートの作成

第6次地域福祉計画・地域福祉活動計画の地区カルテについて

【第4回】

開催日：令和7年9月30日

内 容：第6次地域福祉計画・地域福祉活動計画について

SWOT分析シートについて

中期経営計画のSWOT分析を踏まえた共通理念・ビジョンの策定

部門別取組内容、収支計画についての検討

【第5回】

開催日：令和7年10月20日

内 容：スローガン（藤枝市社協の理念）について

中期経営計画の素案作成、内容修正、「第2章 現状」及び「第6章 中期財政計画」の入力について

【第6回】

開催日：令和7年11月18日

内 容：中期経営計画の素案及び骨子の内容確認について

入間市社会福祉協議会への視察について

【第7回】

開催日：令和8年1月21日

内 容：中期経営計画の修正について（理事会等意見対応）

収支計画について

令和8年度中期経営計画の推進体制について

【第8回】

開催日：令和8年2月12日

内 容：中期経営計画の収支計画の修正について

令和8年度プロジェクトチームの方向性について

② 理事会における報告

本会理事会にて、中期経営計画の素案及び、理事会等で示された意見を踏まえ策定した計画について報告を行いました。

【第3回理事会】

開催日：令和7年12月5日

報告事項：第14号「社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会中期経営計画の素案について」

【第5回理事会】

開催日：令和8年3月3日

報告事項：第17号「社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会中期経営計画について」

③ 評議員会における報告

第3回評議員会にて、策定した中期経営計画について報告を行いました。

【第3回評議員会】

開催日：令和8年3月23日

報告事項：第8号「社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会中期経営計画について」

(7) その他

① 評議員選定委員会の開催状況

開催日	審 議 事 項
6月9日 (第1回)	1. 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会評議員の選任について

② 三役会の開催状況

開催日	審 議 事 項
6月3日 (第1回)	・第1回理事会について ・第1回共同募金委員会について ・第1回評議員選定委員会について ・第1回評議員会について
9月1日 (第2回)	・第2回理事会について ・第2回共同募金委員会について
11月28日 (第3回)	・第3回理事会について ・第2回評議員選定委員会について ・第2回評議員会について ・第4回理事会について ・令和8年度の組織機構について ・福祉有償運送事業計画について
2月24日 (第4回)	・令和8年度給与改定について ・第5回理事会について ・第3回共同募金委員会運営委員会について ・第3回評議員会について

③ 福祉サービス苦情解決事業

広く皆様からのご意見を伺うため、社協で運営している各施設に意見箱を設置するなどして苦情等の受け付けをしました。

苦情受付	申出者	苦情内容	結果
電話 口頭	利用者	・在宅福祉センター職員の電話対応について	解決
	利用者	・在宅福祉センター相談員の言動について	
	利用者	・基幹相談支援センター職員の言動について	
	病院相談員	・基幹相談支援センター職員の言動について	
	利用者の家族	・在宅福祉センター職員の言動について	
	行政担当者	・基幹相談支援センター職員の言動について	
	利用者	・在宅福祉センター相談員の言動について	
	利用者	・基幹相談支援センター職員の言動について	
件数			8 件

④ 職員研修会

職務意識の能力と専門知識を深めるため、県社協や藤枝市などが行う外部研修へ参加しました。

主催	内容
県社協	市町社会福祉協議会新任職員研修会、静岡県地域福祉教育推進セミナー、社会福祉協議会相談支援事業従事者研修初任者編
藤枝市	主査昇格候補者ストレングスファインダー研修 新任係長マネジメント研修 新規採用職員接遇力向上研修
外部研修	中期経営計画策定セミナー、コミュニケーションスキル向上研修、地域医療と介護・福祉をつなぐ会、藤枝市介護支援研究会、認定調査員研修、地域ネットワーク会議、CSW 実践者養成研修修了者スキルアップ研修（継続研修）、中期経営計画策定セミナー、生活困窮者自立支援制度従事者養成研修、静岡県災害ボランティア研修会、藤枝市発達障害者療育支援研修、相談支援従事者初任者研修、発達障害者実践セミナー、療育指導者講習会実技研修、サービス管理責任者基礎研修、在宅重症心身障害児者対応多職種連携研修、障害者虐待防止・権利擁護研修、強度行動障害者支援者養成研修（基礎・実践）、福祉事業所向け地域別学校公開研修、藤枝市立総合病院協力医療機関協定書締結機関意見交換研修、社協災害時広域連携事業研修会、緩和ケア検討会、在宅医療部会、令和7年度更新2B研修、令和7年度静岡県介護支援専門員研修過程Ⅰ、静岡県高次脳機能障害支援養成研修、令和7年度静岡県医療的ケア児等コーディネーター養成研修、令和7年度ファシリテーター養成研修（初級編、中級編）、令和7年度静岡県精神障害者支援の障害特性と支援技法を学ぶ研修、令和7年度静岡県強度行動障害支援者養成研修基礎・実践、静岡県地域生活定着支援センター啓発研修

⑤ 組織体制の強化

内部研修	新規採用職員研修会、熱中症予防研修
------	-------------------

※ その他、各他団体等が主催する委員会の委員として参加

◆◆◆成果◆◆◆

地域福祉を推進するという本会の責務を遂行するために、持続可能な組織運営の土台となる計画として「第1次中期経営計画」を策定しました。

また、法人改善計画を元に法人の現状把握や改善方法について専門家から助言を得て、経理面での運営強化を図りました。

職員の育成については、県社協が主催する社協職員向けの研修のほか、藤枝市が実施している職員研修にも積極的に参加し、職員のスキルアップを図りました。

◆◆◆課題◆◆◆

財務の強化を図りながら、地域の福祉を支える職員の確保を進めることが課題となっています。

令和7年度 事業報告書の附属明細書

該当する事項無し